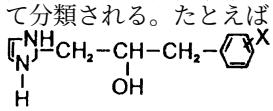
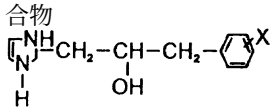
C07D　複素環式化合物（高分子化合物 C08）[2]

注

1. このサブクラスには C07H のタイトルの後の注（3）で定義されているような糖類基を含有する化合物は包含しない。これらはサブクラス C07H に分類する。
2. グループ C07D295/00 に包含される複素環と少なくとも 1 個の他の複素環を含有する化合物においては ,C07D295/00 に包含される複素環は窒素原子の非環式鎖とみなす。
3. このサブクラスにおいては , 下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる :
・“ 複素環 ” とは , 環原子として少なくとも 1 個のハロゲン , 窒素 , 酸素 , 硫黄 , セレンまたはテルル原子を含む環である ;
・“ 架橋 ” という用語は , オルソ , ペリまたはスピロ以外の少なくとも 1 個の結合の存在を意味する ;
・少なくとも 1 個の環原子を共有する 2 個の環は , “ 縮合している ” , すなわち “ スピロ ” および “ 架橋 ” は縮合しているものとする ;
・“ 縮合環系 ” とは , 全ての環が相互に縮合している 1 個の環系のことである ;
・縮合環系の “ 関連する環の数 ” とは , その環系を 1 個の非環式鎖に変換するのに必要な切断の数に等しい ;
・縮合環系の “ 関連する環 ” , すなわちその環の集合によって , その環系の全原子間のすべての結合が示されるような環 , は順次以下の基準に従って選ばれる ;
a. 環原子の数が最小のもの ;
b. 環原子として異種原子の数が最多のもの ;
c. 他の環と共有する環原子の数が最小のもの ;
d. 分類体系の最後の箇所に該当するもの。
4. サブクラス C07C から C07K に適用するラストプレイス優先ルールを規定するクラス C07 に続くクラス注（3）に注意すること。
5. 化合物の治療活性は , サブクラス A61P にさらに分類する。
6. このサブクラスにおいては , ラストプレイス優先ルールが適用される , すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り , 以下の規則により分類する :
a.1 個の複素環のみを有する化合物は , グループ C07D203/00-C07D347/00 のうちの最後の適切な箇所に分類する。同一のメイングループに属する複数の複素環を有する化合物であって , 相互にも , または共通の炭素環系とも縮合していない化合物も , 同様に分類する ;
b. 異なるメイングループに属する 2 個またはそれ以上の複素環を有する化合物であって , 相互にもまたは共通の炭素環系とも縮合していない化合物は ,C07D401/00-C07D421/00 のうちの最後の適切な箇所に分類する ;
c. 同一または異なるメイングループに属する 2 個またはそれ以上の “ 関連する ” 複素環からなる化合物であって , 相互に , または共通の炭素環系と縮合している化合物は ,C07D451/00-C07D519/00 のうちの最後の適切な箇所に分類する。
7. このサブクラスにおいては :
・化合物が互変異性体として存在する場合には , それは分類表の最後の箇所に分類される形態で存在するかのように分類する。したがって環原子と非環原子間の二重結合および環原子相互間の二重結合は , 環の水素化の程度を決定するに際して同等と考える。構造式はケクレ形式で書かれているものと考える ;
・炭素環と複素環に結合する非環式鎖を含有する炭化水素基で , かつ前記炭素環と非環式鎖の両方に , 異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち少なくとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が置換している炭化水素基は , 非環式鎖上の置換基に従って分類される。たとえば , 化合物


は C07D233/22 に分類され , 化合物


は C07D233/24 と C07D233/26 に分類される。ただし ,X は − NH_2, − $NHCOCH_3$ または − $COOCH_3$ である。

サブクラス内の索引

1 個の異項環を含む化合物
異項環原子として窒素を有する化合物
窒素原子のみのもの
1 個の窒素原子のもの
ポリメチレン−イミン..... 295/00
ラクタムの製造..... 201/00
3 員環のもの..... 203/00
4 員環のもの..... 205/00
5 員環のもの..... 207/00,209/00
6 員環のもの..... 211/00,213/00,215/00,217/00,219/00,221/00
7 員環のもの..... 223/00
その他の化合物..... 225/00,227/00
2 個の窒素原子のもの
4 員環のもの..... 229/00
5 員環のもの..... 231/00,233/00,235/00
6 員環のもの..... 237/00,239/00,241/00
ピペラジン..... 295/00
7 員環のもの..... 243/00
その他の化合物..... 245/00,247/00
3 個の窒素原子のもの
5 員環のもの..... 249/00
6 員環のもの..... 251/00,253/00
その他の化合物..... 255/00
4 個またはそれ以上の窒素原子のもの
257/00,259/00
窒素および酸素原子のもの
5 員環のもの..... 261/00,263/00,271/00
6 員環のもの..... 265/00,273/00
モルホリン..... 295/00
その他の化合物..... 267/00,269/00,273/00
窒素原子および硫黄原子のもの
5 員環のもの..... 275/00,277/00,285/00
6 員環のもの..... 279/00,285/00
チオモルホリン..... 295/00
その他の化合物..... 281/00,283/00,285/00
窒素 , 酸素および硫黄原子のもの..... 291/00
異項環原子として酸素を有する化合物
酸素原子のみのもの
1 個の酸素原子のもの
3 員環のもの..... 301/00,303/00
4 員環のもの..... 305/00
5 員環のもの..... 307/00
6 員環のもの..... 309/00,311/00
その他の化合物..... 313/00,315/00
2 個の酸素原子のもの
5 員環のもの..... 317/00
6 員環のもの..... 319/00
その他の化合物..... 321/00
3 個のまたはそれ以上の酸素原子のもの..... 323/00
その他の化合物..... 325/00
酸素および窒素原子のもの
5 員環のもの..... 261/00,263/00,271/00
6 員環のもの..... 265/00,273/00
モルホリン..... 295/00
その他の化合物..... 267/00,269/00,273/00
酸素および硫黄原子のもの..... 327/00
酸素 , 窒素および硫黄原子のもの..... 291/00
異項環原子として硫黄を有する化合物
硫黄原子のみのもの
1 個の硫黄原子のもの
5 員環のもの..... 333/00
6 員環のもの..... 335/00
その他の化合物..... 331/00,337/00
2 個またはそれ以上の硫黄原子のもの
339/00,341/00
硫黄および窒素原子のもの
5 員環のもの..... 275/00,277/00,285/00
6 員環のもの..... 279/00,285/00
チオモルホリン..... 295/00
その他の化合物..... 281/00,283/00,285/00
硫黄および酸素原子のもの..... 327/00
硫黄 , 窒素と酸素原子のもの..... 291/00
異項環原子としてセレンまたはテルルを有する化合物
セレンまたはテルル原子のみのもの..... 345/00
窒素原子を伴なうもの..... 293/00
酸素原子を伴なうもの..... 329/00
硫黄原子を伴なうもの..... 343/00
異項環原子としてハロゲンを有する化合物.. 347/00

2 個またはそれ以上の異項環の含む化合物
同一環方式によるもの
異項環原子として窒素を有する化合物
窒素のみのもの
1 個の窒素を有する少なくとも 1 個の 6 員環.... 471/00
トロパン , グラナタン..... 451/00
キニーネ , キヌクリジン , イソーキヌクリジン
453/00
エメチン , ベルベリン..... 455/00
ルゼルギン酸 , 麦角アルカロイド..... 457/00
ヨヒンビン..... 459/00
ビンカミン..... 461/00
カルバセファロスポリン..... 463/00
その他の化合物..... 487/00,507/00,513/00
プリン..... 473/00
プテリジン..... 475/00
チエナマイシン..... 477/00
窒素および酸素のもの..... 491/00,498/00,507/00
モルフィン..... 489/00
オキサペニシリン..... 503/00
オキサセファロスポリン..... 505/00
窒素および硫黄のもの..... 507/00,513/00
ペニシリン..... 499/00
セファロスポリン..... 501/00
窒素 , 酸素および硫黄のもの..... 507/00,515/00
異項環原子として酸素を有するもの
酸素のみのもの..... 493/00
酸素および窒素のもの..... 491/00,498/00,507/00
モルフィン..... 489/00
オキサペニシリン..... 503/00
オキサセファロスポリン..... 505/00
酸素および硫黄のもの..... 497/00
酸素 , 窒素および硫黄のもの..... 507/00,515/00
異項環原子として硫黄を有するもの
特有環に硫黄のみを有するもの..... 495/00
硫黄および酸素のもの..... 497/00
硫黄 , 窒素および酸素のもの..... 507/00,515/00
異項環原子としてセレン , テルルまたはハロゲンを有するもの..... 517
/00
各 1 個の異項環を含む異なった環方式のもの
異項環原子として窒素を有するもの
窒素のみのもの
1 窒素原子を含む少なくとも 1 個の 6 員環のもの
401/00
その他の化合物..... 403/00
窒素および酸素のもの..... 405/00,413/00
硫黄および窒素のもの..... 417/00
チアミン..... 415/00
窒素 , 酸素および硫黄のもの..... 419/00
異項環原子として酸素を有するもの
酸素のみのもの..... 407/00
酸素および窒素のもの..... 405/00,413/00
酸素および硫黄のもの..... 411/00
酸素 , 窒素および硫黄のもの..... 419/00
異項環原子として硫黄を有するもの
特有環に硫黄のみを有するもの..... 409/00
硫黄および窒素のもの..... 417/00
チアミン..... 415/00
硫黄および酸素のもの..... 411/00
硫黄 , 窒素および酸素のもの..... 419/00
異項環としてセレン , テルルまたはハロゲンを有するもの..... 421/00
各々 2 個あるいはそれ以上の異項環を有する 2 個あるいはそれ以上の環方式を含む化合物
519/00
アルカロイド
エメチン..... 455/00
麦角..... 457/00,519/00
グラナタニン..... 451/00
モルフィン..... 489/00
ニコチン..... 401/00
パパベリン..... 217/20
キニーネ..... 453/00
ストリキニン..... 498/00
トロパ..... 451/00
セファロスポリン..... 501/00
ペニシリン..... 499/00
プテリジン..... 475/00
チエナマイシン..... 477/00
プリン..... 473/00
チアミン..... 415/00
特記していない異項環を含む化合物..... 521/00

ファセット分類記号

適用範囲 (201/00 〜 521/00)
CSP　**化学物質名または化学構造式で記載された有機低分子化合物自体の発明**

異項原子として窒素原子のみを有する複素環式化合物 [2]

201/00　**置換基のないラクタムの製造 , 分離 , 精製または安定化** [2]
201/02　・ラクタムの製造 [2]
201/04　・・オキシムからベックマン転移による [2]
201/06　・・・ケトンからオキシムの同時形成および転移によるもの [2]
201/08　・・カルボン酸またはその誘導体 , 例 . ヒドロキシカルボン酸 , ラクトン , ニトリル , からのもの [2]
201/10　・・脂環式化合物の同時ニトロシル化および転移によるもの [2]
201/12　・・ポリアミドの解重合によるもの [2]
201/14　・ラクタムの塩または付加物の製造 [2]
201/16　・分離または精製 [2]
201/18　・安定化 [2]
203/00　**異項原子として 1 個の窒素原子のみを含有する 3 員環からなる複素環式化合物** [2]
203/02　・閉環による製造 [2]
203/04　・他の環と縮合していないもの [2]
203/06　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合を有しないもの [2]
203/08　・・・環の窒素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
203/10　・・・・単結合の酸素原子により置換されている炭化水素基 [2]
203/12　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子によって置換されている炭化水素基 [2]
203/14　・・・・環の窒素原子に直接結合している炭素環を有するもの [2]
203/16　・・・アシル化されている環の窒素原子を有するもの [2]
203/18　・・・・カルボン酸によるかまたはその硫黄または窒素類似体によるもの [2]
203/20　・・・・炭酸によるかまたはその硫黄または窒素類似体 , 例 . カルバミン酸塩 , によるもの [2]
203/22　・・・環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
203/24　・・・・硫黄原子 [2]
203/26　・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
205/00　**異項原子として 1 個の窒素原子のみを含有する 4 員環からなる複素環式化合物** [2]
205/02　・他の環と縮合していないもの [2]
205/04　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合を有しないもの [2]
205/06　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合を有するもの [2]
205/08　・・・2 位に直接結合する 1 個の酸素原子を有するもの , 例 . β－ラクタム [2]

205/08　101　‥‥4 位に少なくとも 1 つの C が結合し , かつ ,3 位に少なくとも 1 つの H が結合したもの
205/08　102　‥‥4 位に少なくとも 1 つの C が結合し , かつ ,3 位に少なくとも 1 つの C が結合したもの
205/08　103　‥‥4 位に少なくとも 1 つの C が結合し , かつ ,3 位に少なくとも 1 つの N 以外の異種原子が結合したもの
205/08　104　‥‥4 位に少なくとも 1 つの O が結合し , かつ ,3 位に少なくとも 1 つの C が結合したもの
205/085　‥‥3 位に直接結合した窒素原子を有するもの [5]
205/085　101　‥‥‥4 位に少なくとも 1 つの H が結合し , かつ ,1 位に少なくとも 1 つの C が結合したもの
205/085　102　‥‥‥4 位に少なくとも 1 つの H が結合し , かつ ,1 位に少なくとも 1 つの S が結合したもの
205/085　103　‥‥‥4 位に少なくとも 1 つの C が結合したもの
205/085　104　‥‥‥‥1 位に少なくとも 1 つの異種原子が結合したもの
205/085　105　‥‥‥4 位に少なくとも 1 つの O が結合したもの
205/09　‥‥4 位に直接結合した硫黄原子を有するもの [5]
205/09　101　‥‥‥3 位に少なくとも 1 つの H が結合したもの
205/09　102　‥‥‥3 位に少なくとも 1 つの C が結合したもの
205/095　‥‥‥3 位に直接結合した窒素原子を有するもの [5]
205/095　101　‥‥‥‥1 位に少なくとも 1 つの C が結合したもの
205/095　102　‥‥‥‥1 位に少なくとも 1 つの ,H 又は SO_3 が結合したもの
205/10　‥環原子相互間又は環原子と非環原子間に 2 個の二重結合を有するもの [2]
205/12　・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]

207/00　**異項原子として 1 個の窒素原子のみを含有し , 他の環と縮合していない 5 員環からなる複素環式化合物** [2]

環の炭素原子に結合する水素原子のみを有するピロリジンは ,295/00 に分類する。[2]

207/02　・環の窒素原子に直接結合する水素原子または炭素原子のみを有するもの [2]
207/04　‥環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合を有しないもの [2]
207/06　‥‥環の炭素原子に結合した , 水素原子および炭素原子のみからなる基を有するもの [2]
207/08　‥‥環の炭素原子に結合した , 異種原子により置換された炭化水素基を有するもの [2]
207/09　‥‥‥ニトロ基の一部でない窒素原子により置換されている基 [3]
207/10　‥‥異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
207/12　‥‥‥酸素原子または硫黄原子 [2]
207/14　‥‥‥ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
207/16　‥‥‥異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 [2]
207/18　‥環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合を有するもの [2]
207/20　‥‥環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
207/22　‥‥異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
207/24　‥‥‥酸素原子または硫黄原子 [2]
207/26　‥‥‥2 ―ピロリドン [2]
207/263　‥‥‥‥環の他の炭素原子に , 水素原子または水素原子と炭素原子のみを含有する基のみが直接結合したもの [3]
207/267　‥‥‥‥‥環の窒素原子に直接結合する水素原子 , または水素原子および炭素原子のみからなる基のみを有するもの [3]
207/27　‥‥‥‥‥環の窒素原子に直接結合する置換炭化水素基を有するもの [3]
A　プロスタグランジン系化合物
Z　その他のもの
207/273　‥‥‥‥異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル基またはニトリル基 , が環の他の炭素原子に直接結合したもの [3]
207/277　‥‥‥‥‥異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 [3]
207/28　‥‥‥‥‥‥2―ピロリドン―5―カルボン酸 ; その官能性誘導体 , 例 . エステル , ニトリル [2,3]
207/30　‥環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個の二重結合を有するもの [2]
207/32　‥‥環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
207/323　‥‥‥環の窒素原子に直接結合する水素原子 , または水素原子および炭素原子のみからなる基のみを有するもの [3]
207/325　‥‥‥環の窒素原子に直接結合する置換炭化水素基を有するもの [3]
207/327　‥‥‥‥異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子で置換された基 , 例 . エステルまたはニトリル基 [3]
207/33　‥‥‥環の炭素原子に直接結合する , 置換炭化水素基を有するもの [3]
207/333　‥‥‥‥酸素原子または硫黄原子で置換された基 [3]
207/335　‥‥‥‥ニトロ基の一部でない窒素原子で置換された基 [3]

207/337 ・・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子で置換された基 , 例 . エステルまたはニトリル基 [3]
207/34 ・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
207/36 ・・・・酸素原子または硫黄原子 [2]
207/38 ・・・・・2 －ピロロン [2]
207/40 ・・・・・2,5―ピロリジン―ジオン [2]
207/404 ・・・・・・環の他の炭素原子に , 水素原子または水素原子と炭素原子のみを含有する基のみが直接結合したもの , 例 . スクシンイミド [3]
207/408 ・・・・・・・環の炭素原子に結合する水素原子および炭素原子のみからなる基 [3]
207/412 ・・・・・・・・7 個以上の炭素原子からなる非環式基 [3]
207/416 ・・・・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル基またはニトリル基 , が環の他の炭素原子に直接結合したもの [3]
207/42 ・・・・ニトロ基 [2]
207/44 ・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個の二重結合を有するもの [2]
207/444 ・・・2 位と 5 位に直接結合する 2 個の二重結合の酸素原子を有するもの [3]
207/448 ・・・・環の他の炭素原子に , 水素原子または水素原子と炭素原子のみを含有する基のみが直接結合したもの , 例 . マレイミド [3]
207/452 ・・・・・環の窒素原子に直接結合する , 異種原子によって置換された炭化水素基を有するもの [3]
207/456 ・・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル基またはニトリル基 , が環の他の炭素原子に直接結合したもの [3]
207/46 ・環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
207/48 ・・硫黄原子 [2]
207/50 ・・窒素原子 [2]
209/00 **異項原子として 1 個の窒素原子のみを含有し , 他の環と縮合している 5 員環からなる複素環式化合物** [2]
209/02 ・1 個の炭素環と縮合しているもの [2]
209/04 ・・インドール ; 水素添加したインドール [2]
209/06 ・・・コールタールからインドールの製造 [2]
209/08 ・・・複素環の炭素原子に直接結合する水素原子または水素原子および炭素原子のみからなる基のみを有するもの [2]
209/10 ・・・複素環の炭素原子に結合し , 置換されている炭化水素基を有するもの [2]
209/12 ・・・・酸素原子により置換されている基 [2]
209/14 ・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子により置換されている基 [2]
209/16 ・・・・・トリプタミン [2]
209/18 ・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , により置換されている基 [2]
209/20 ・・・・・更に窒素原子により置換されているもの , 例 . トリプトファン [2]
209/22 ・・・・・環の窒素原子に結合するアラルキル基を有するもの [2]
209/24 ・・・・・環の窒素原子に結合するアルキル基またはシクロアルキル基を有するもの [2]
209/26 ・・・・・環の窒素原子に結合するアシル基を有するもの [2]
209/28 ・・・・・・5 位が酸素または窒素原子により置換されている 1 －（4 －クロロベンゾイル）－ 2 －メチル－インドリル－ 3 －酢酸 ; そのエステル [2]
209/30 ・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が複素環の炭素原子に直接結合したもの [2]
209/32 ・・・・酸素原子 [2]
209/34 ・・・・・2 位において [2]
209/36 ・・・・・3 位において , 例 . アドレノクロム [2]
209/38 ・・・・・2 位と 3 位において , 例 . イサチン [2]
209/40 ・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 , 例 . イサチン・セミカルバゾン [2]
209/42 ・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 [2]
209/43 ・・・更に置換されていてもよい ,4 位 ,5 位 ,6 位または 7 位に結合した 1 個の―OCH_2CH（OH）CH_2NH_2 基を有するもの [5]
209/44 ・・イソインドール ; 水素添加したイソインドール [2]
209/46 ・・・1 位に酸素原子を有するもの [2]
209/48 ・・・1 位および 3 位に酸素原子を有するもの , 例 . フタルイミド [2]
209/49 ・・・・分子中に飽和 3 員環を含有する 1 個のアシル基をもつもの , 例 . クリサンテミン酸エステル [5]
209/50 ・・・1 位および 3 位に酸素原子および窒素原子を有するもの [2]
209/52 ・・6 員環以外の環と縮合しているもの [2]
209/54 ・・スピロ縮合しているもの [2]
209/56 ・3 個またはそれ以上の環からなる環系 [2]
209/58 ・・〔b〕―または〔c〕―縮合しているもの [2]
209/60 ・・・ナフト〔b〕ピロール ; 水素添加したナフト〔b〕ピロール [2]
209/62 ・・・ナフト〔c〕ピロール ; 水素添加したナフト〔c〕ピロール [2]
209/64 ・・・・1 位に酸素原子を有するもの [2]
209/66 ・・・・1 位および 3 位に酸素原子を有するもの [2]
209/68 ・・・・1 位および 3 位に酸素原子および窒素原子を有するもの [2]

209/70 ･･･6 員環以外の炭素環を含有するもの [2]
209/72 ･･･4,7―エンド―アルキレン―イソインドール [2]
209/74 ････1 位に酸素原子を有するもの [2]
209/76 ････1 位および 3 位に酸素原子を有するもの [2]
209/78 ････1 位および 3 位に酸素原子および窒素原子を有するもの [2]
209/80 ･･〔b,c〕―または〔b,d〕―縮合しているもの [2]
209/82 ･･･カルバゾール ; 水素添加したカルバゾール [2]
209/84 ････分離 , 例 . タールから ; 精製 [2]
209/86 ････環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
209/88 ････異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
209/90 ･･･ベンゾ〔c,d〕インドール ; 水素添加したベンゾ〔c,d〕インドール [2]
209/92 ････ナフトスチリル [2]
209/94 ･･･6 員環以外の炭素環を含有するもの [4]
209/96 ･･スピロ縮合しているもの [2]
211/00 他の環と縮合していない水素添加したピリジン環を含有する複素環式化合物 [2]

（1）このグループにおいては , 下記の用語は以下に示す意味で用いる :
― “ 水素添加した ” は , 環原子相互間または環原子と非環原子間に ,2 個以下の二重結合を有していることを意味する。[2]
（2）環の炭素原子に水素原子のみが結合するピペリジンは ,295/00 に分類する。[2]

211/02 ･閉環または水素添加による製造 [2]
211/04 ･環の窒素原子に直接結合する水素原子または炭素原子のみを有するもの [2]
211/06 ･･環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合のないもの [2]
211/08 ･･･環の炭素原子に直接結合する炭化水素基または置換炭化水素基を有するもの [2,3]
211/10 ････環の炭素原子に結合する , 炭素原子および水素原子のみを有する基を有するもの [2,3]
211/12 ･････環の窒素原子に結合する水素原子のみを有するもの [2,3]
211/14 ･････環の窒素原子に炭化水素基または置換炭化水素基が結合しているもの [2]
211/16 ･････アシル化された環の窒素原子を有するもの [2]
211/18 ････環の炭素原子に結合し , 置換された炭化水素基を有するもの [2]
211/20 ･････単結合の酸素原子または硫黄原子により置換された炭化水素基を有するもの [2]
211/22 ･････････酸素原子によるもの [2]
211/24 ･････････第 2 番目の異種原子が結合している硫黄原子によるもの [2]
211/26 ･････窒素原子により置換された炭化水素基を有するもの [2]
211/28 ･････････第 2 番目の異種原子が結合する窒素原子によるもの [2]
211/30 ･････二重結合の酸素原子または硫黄原子によってまたは同一の炭素原子に単結合した 2 個の酸素原子によつてまたは硫黄原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
211/32 ･････････酸素原子によるもの [2]
211/34 ･････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , により置換された炭化水素基を有するもの [2]
211/36 ･･･異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
211/38 ････ハロゲン原子またはニトロ基 [2]
211/40 ････酸素原子 [2]
211/42 ･････3 位または 5 位に直接結合しているもの [2]
211/44 ･････4 位に結合しているもの [2]
211/46 ･････････4 位に第 2 番目の置換基として水素原子を有するもの [2]
211/48 ･････････4 位に非環状炭素原子が結合しているもの [2]
211/50 ･････････････アロイル基 [2]
211/52 ･････････4 位の第 2 番目の置換基としてアリール基を有するもの [2]
211/54 ････硫黄原子 [2]
211/56 ････窒素原子（ニトロ基 C07D211/38）[2]
211/58 ･････4 位に結合しているもの [2]
211/60 ････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 [2]
211/62 ･････4 位に結合しているもの [2]
211/64 ･････････4 位の第 2 番目の置換基としてアリール基を有するもの [2]
211/66 ･････････4 位の第 2 番目の置換基として異種原子を有するもの [2]
211/68 ･･環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合を有するもの [2]
211/70 ･･･環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
211/72 ･･･異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
211/74 ････酸素原子 [2]
211/76 ･････2 位または 6 位に結合しているもの [2]
211/78 ････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
211/80 ･･環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個の二重結合を有しているもの [2]
211/82 ･･･環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]

211/84 ･･･異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
211/86 ････酸素原子 [2]
211/88 ･････2 位および 6 位に結合しているもの , 例 . グルタルイミド [2]
211/90 ････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
211/92 ･環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
211/94 ･･酸素原子 , 例 . ピペリジン N―オキシド [2]
211/96 ･･硫黄原子 [2]
211/98 ･･窒素原子 [2]
213/00 異項原子として 1 個の窒素原子のみをもち , 環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個またはそれ以上の二重結合を有し , 他の環と縮合していない 6 員環からなる複素環式化合物 [2]
213/02 ･環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個の二重結合を有するもの [2]
213/04 ･･環の窒素原子と非環原子間に結合をもたないもの , または環の窒素原子に直接結合する水素原子または炭素原子のみをもつもの [2]
213/06 ･･･環の窒素原子以外に水素原子または炭素原子のみを含有するもの [2]
213/08 ････閉環による製造 [2]
213/09 ･････アンモニア , アミン , アミン塩 , またはニトリルの使用を含むもの [3]
213/10 ･････････アセトアルデヒドまたはその環状ポリマーからのもの [3]
213/12 ･････････不飽和化合物からのもの [3]
213/127 ････ピリジン環含有化合物からの製造 [3]
213/133 ････水素化ピリジン化合物の脱水素による製造 [3]
213/14 ････異項原子として酸素原子を有する化合物からの製造 [2]
213/16 ････1 個のピリジン環のみを含有するもの [2]
213/18 ･････その塩 [2]
213/20 ･････その第四級化合物 [2]
213/22 ････相互に直接連結する 2 個またはそれ以上のピリジン環を含有するもの , 例 . ビピリジル [2]
213/24 ･･･環の炭素原子に結合する置換炭化水素基を有するもの [2]
213/26 ････ハロゲン原子またはニトロ基により置換された基 [2]
213/28 ････単結合の酸素原子または硫黄原子により置換された基 [2]
213/30 ･････酸素原子 [2]
213/32 ･････硫黄原子 [2]
213/34 ･････････第 2 番目の異種原子が結合しているもの [2]
213/36 ････単結合の窒素原子によって置換された基（ニトロ基 C07D213/26）[2]
213/38 ･････置換基の窒素原子に結合する水素原子または炭化水素基のみを有するもの [2]
213/40 ･････置換基の窒素原子がアシル化されたもの [2]
213/42 ･････置換基の窒素原子に結合する異種原子を有するもの（ニトロ基 C07D213/26）[2]
213/44 ････二重結合の酸素 , 硫黄または窒素原子によってまたは同一の炭素原子に単結合した 2 個のそのような原子によって置換されている基 [2]
213/46 ･････酸素原子 [2]
213/48 ･････････アルデヒド基 [2]
213/50 ･････････ケトン基 [2]
213/51 ･････････アセタール基 [2]
213/52 ･････硫黄原子 [2]
213/53 ･････窒素原子 [2]
213/54 ････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , によって置換された基 [2]
213/55 ･････酸 ; エステル [2]
213/56 ･････アミド [2]
213/57 ･････ニトリル [2]
213/58 ･････アミジン [2]
213/59 ･････少なくとも 1 個の結合が硫黄原子に対するもの [2]
213/60 ･･･異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
213/61 ････ハロゲン原子またはニトロ基 [2]
213/62 ････酸素原子または硫黄原子 [2]
213/63 ･････1 個の酸素原子 [2]
213/64 ･････････2 位または 6 位に結合しているもの [2]
213/643 ････････2―フェノキシピリジン ; その誘導体 [5]
213/647 ････････分子中に飽和 3 員環を含有する 1 個のアシル基をもつもの , 例 . 菊酸エステル [5]
213/65 ･････････3 位または 5 位に結合しているもの [2]
213/66 ････････3 位に酸素原子 ,4 位および 5 位のそれぞれに酸素原子 , 硫黄原子または窒素原子が結合する炭素原子を有するもの , 例 . ピリドキサール [2]
213/67 ･････････2―メチル―3―ヒドロキシ―4,5―ビス（ヒドロキシ―メチル）ピリジン , すなわちピリドキシン [2]
213/68 ･････････4 位に結合しているもの [2]
213/69 ･････2 個またはそれ以上の酸素原子 [2]
213/70 ･････硫黄原子 [4]
213/71 ･････････第 2 番目の異種原子が結合しているもの [4]
213/72 ････窒素原子（ニトロ基 C07D213/61）[2]
213/73 ･････置換されていないアミノまたはイミノ基 [2]
213/74 ･････炭化水素基または置換された炭化水素基によって置換されているアミノ基またはイミノ基 [2]
213/75 ･････カルボン酸または炭酸によってまたはその硫黄または窒素類似体 , 例 . カルバミン酸塩 , によってアシル化されているアミノ基またはイミノ基 [2]

213/76　・・・・・第 2 番目の異種原子が結合しているもの（ニトロ基 C07D213/61）[2]
213/77　・・・・・・ヒドラジン基 [2]
213/78　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 [2]
213/79　・・・・・酸 ; エステル [2]
213/80　・・・・・・3 位において [2]
213/803　・・・・・・製造方法 [3]
213/807　・・・・・・・ピリジンまたは縮合ピリジンの酸化によるもの [3]
213/81　・・・・・アミド ; イミド [2]
213/82　・・・・・・3 位において [2]
213/83　・・・・・チオ酸 ; チオエステル ; チオアミド ; チオイミド [2]
213/84　・・・・・ニトリル [2]
A　アンモキシデーション法
Z　その他
213/85　・・・・・・3 位において [2]
213/86　・・・・・ヒドラジド ; そのチオまたはイミノ類似体 [2]
213/87　・・・・・・3 位において [2]
213/88　・・・・・ニコチノイルヒドラゾン [2]
213/89　・・環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
213/90　・環原子相互間または環原子と非環原子間に 4 個以上の二重結合を有するもの [2]
215/00　キノリン環系または水素添加したキノリン環系を含有する複素環式化合物 [2]
215/02　・環の窒素原子と非環原子間に結合をもたないもの , または環の窒素原子に直接結合する水素原子または炭素原子のみをもつもの [2]
215/04　・・環の炭素原子に直接結合する水素原子または水素原子および炭素原子のみを含有する基のみを有するもの [2]
215/06　・・・環の窒素原子に結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基を有するもの [2]
215/08　・・・環の窒素原子がアシル化されているもの [2]
215/10　・・・第四級化合物 [2]
215/12　・・環の炭素原子に結合する置換炭化水素基を有するもの [2]
215/14　・・・酸素原子によって置換された基 [2]
215/16　・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
215/18　・・・ハロゲン原子またはニトロ基 [2]
215/20　・・・酸素原子 [2]
215/22　・・・・2 位または 4 位に結合しているもの [2]
215/227　・・・・・2 位に 1 個の酸素原子のみが結合するもの [5]
215/233　・・・・・4 位に 1 個の酸素原子のみが結合するもの [5]
215/24　・・・・8 位に結合しているもの [2]
215/26　・・・・・アルコール ; そのエーテル [2]
215/28　・・・・・・5 位 ,6 位または 7 位にハロゲン原子またはニトロ基を有するもの [2]
215/30　・・・・・・金属塩 ; キレート [2]
215/32　・・・・・・エステル [2]
215/34　・・・・・・・カルバミン酸塩 [2]
215/36　・・・硫黄原子（C07D215/24 が優先）[2]
215/38　・・・窒素原子（ニトロ基 C07D215/18）[2]
215/40　・・・・8 位に結合しているもの [2]
215/42　・・・・4 位に結合しているもの [2]
215/44　・・・・・該窒素原子に結合するアリール基を有するもの [2]
215/46　・・・・・該窒素原子に結合し , 窒素原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
215/48　・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
215/50　・・・・4 位に結合しているもの [2]
215/52　・・・・・2 位に結合するアリール基を有するもの [2]
215/54　・・・・3 位に結合しているもの [2]
215/56　・・・・・4 位に酸素原子を有するもの [2]
215/58　・環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
215/60　・・N―オキシド [2]
217/00　イソキノリン環系または水素添加したイソキノリン環系を含有する複素環式化合物 [2]
217/02　・窒素含有環の炭素原子に直接結合する水素原子 , または炭素原子および水素原子のみを含有する基のみを有するもの ; アルキレン―ビス―イソキノリン [2]
217/04　・・環の窒素原子に結合する炭化水素基または置換炭化水素基を有するもの [2]
217/06　・・カルボン酸または炭酸によつてまたはその硫黄または窒素類似体 , 例 . カルバミン酸塩 , によってアシル化された環の窒素原子を有するもの [2]
217/08　・・環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
217/10　・・第四級化合物 [2]
217/12　・窒素含有環の炭素原子に結合し , 異種原子により置換された基を有するもの [2]
217/14　・・アラルキル基以外 [2]
217/16　・・・酸素原子により置換されているもの [2]
217/18　・・アラルキル基 [2]
217/20　・・・該アラルキル基の芳香環に直接結合する酸素原子を有するもの [2]
217/22　・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が窒素含有環の炭素原子に直接結合したもの [2]
217/24　・・酸素原子 [2]
217/26　・・異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
219/00　アクリジン環系または水素添加したアクリジン環系を含有する複素環式化合物 [2]
219/02　・環系の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]

219/04 ・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環系の炭素原子に直接結合したもの [2]
219/06 ・・酸素原子 [2]
219/08 ・・窒素原子 [2]
219/10 ・・・9 位に結合しているもの [2]
219/12 ・・・・9 位にアミノ―アルキル―アミノ基が結合しているもの [2]
219/14 ・環の窒素原子に結合し , 窒素原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
219/16 ・環の窒素原子に結合し , 窒素原子によって置換されたアシル基を有するもの [2]
221/00 **異項原子として 1 個の窒素原子のみを有する 6 員環の複素環式化合物であって , グループ C07D211/00-C07D219/00 までに属さないもの** [2]
221/02 ・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
221/04 ・・オルソ―またはペリ―縮合環系 [2]
221/06 ・・・3 個の環からなる環系 [2]
221/08 ・・・・アザ―アントラセン [2]
221/10 ・・・・アザ―フェナントレン [2]
221/12 ・・・・・フェナントリジン [2]
221/14 ・・・・アザ―フェナレン , 例 .1,8―ナフタルイミド [2]
221/16 ・・・・6 員環以外の炭素環を含有するもの [2]
221/18 ・・・4 個またはそれ以上の環からなる環系 [2]
221/20 ・・スピロ―縮合環系 [2]
221/22 ・・架橋環系 [2]
221/24 ・・・カンフィジン [2]
221/26 ・・・ベンゾモルファン [2]
221/28 ・・・モルフィナン [2]
223/00 **異項原子として 1 個の窒素原子のみを含有する 7 員環の複素環式化合物** [2]

環の炭素原子に結合する水素原子のみを有するヘキサメチレンイミンまたは 3―アザ―ビシクロ〔3,2,2〕ノナンは ,295/00 に分類する。[2]

223/02 ・他の環と縮合していないもの [2]
223/04 ・・環の炭素原子に直接結合する水素原子 , ハロゲン原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
223/06 ・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの（ハロゲン原子 C07D223/04）[2]
223/08 ・・・酸素原子 [2]
223/10 ・・・・2 位に結合しているもの [2]
223/12 ・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
A 2 位に結合しているもの
B 3 位に結合しているもの
C ・2 位に酸素原子が直接結合したもの
D ・・α―アミノ―ε―カプロラクタムの製造
E ・・・分離 , 精製
F ・・・光学分割 ; ラセミ化
Z その他
223/14 ・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
223/16 ・・ベンズアゼピン ; 水素添加したベンズアゼピン [2]
A ベンズ〔b〕アゼピン
B ベンズ〔c〕アゼピン
Z その他
223/18 ・・ジベンズアゼピン ; 水素添加したジベンズアゼピン [2]
223/20 ・・・ジベンズ〔b,e〕アゼピン ; 水素添加したジベンズ〔b,e〕アゼピン [2]
223/22 ・・・ジベンズ〔b,f〕アゼピン ; 水素添加したジベンズ〔b,f〕アゼピン [2]
223/24 ・・・・環の窒素原子に結合し , 窒素原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
223/26 ・・・・・10 位および 11 位の間に二重結合を有するもの [2]
223/28 ・・・・・10 位および 11 位の間に単結合を有するもの [2]
223/30 ・・・・環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
223/32 ・・6 員環以外の炭素環を含有するもの [2]
225/00 **異項原子として 1 個の窒素原子のみを有し ,8 員環以上の環からなる複素環式化合物** [2]

少くとも 5 員環で , 環の炭素原子に水素原子のみが結合したポリメチレンイミンは 295/00 に分類する。[3]

225/02 ・他の環と縮合していないもの [2]
225/04 ・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
225/06 ・・1 個の 6 員環と縮合しているもの [2]
225/08 ・・2 個の 6 員環と縮合しているもの [2]
227/00 **異項原子として 1 個の窒素原子のみを有する環からなり ,C07D203/00-C07D225/00 までの 2 以上のメイングループに一致する複素環式化合物** [2]

少くとも 5 員環で , 環の炭素原子に水素原子のみが結合したポリメチレン―イミンは 295/00 に分類する。[3]

227/02 ・環の窒素原子に直接結合する水素原子または炭素原子のみを有するもの [2]
227/04 ・・環の炭素原子に結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
227/06 ・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
227/08 ・・・酸素原子 [2]
227/087 ・・・・2 位に 1 個の二重結合の酸素原子 , 例 . ラクタム [3]
227/093 ・・・・環の窒素原子に隣接する炭素原子に結合する 2 個の二重結合の酸素原子 , 例 . ジカルボン酸イミド [3]
227/10 ・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
227/12 ・環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
229/00 **異項原子として 2 個の窒素原子のみを有する 4 員環以下の複素環式化合物** [2]
229/02 ・3 員環を含有するもの [3]
231/00 1,2―**ジアゾール環または水素添加した** 1,2―**ジアゾール環からなる複素環式化合物** [2]

231/02　・他の環と縮合していないもの [2]
231/04　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合を有しないもの [2]
231/06　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合を有するもの [2]

A　環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基 , 置換炭化水素基のみを有するもの
B　・環の窒素原子に , 異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が直接結合したもの
C　・環の窒素原子にアリール基を有するもの
D　環の炭素原子に , 酸素 , 硫黄以外の異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を有しそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が直接結合したもの
Z　その他

231/08　・・・環の炭素原子に直接結合する酸素原子または硫黄原子を有するもの [2]
231/10　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個または 3 個の二重結合を有するもの [2]
231/12　・・・環の炭素原子に結合する水素原子 , 炭化水素基または置換された炭化水素基のみを有するもの [2]

A　置換炭化水素基が N で置換されたもの
B　置換炭化水素基が O で置換されたもの
C　環の N に（置換）炭化水素基が直接結合したもの
D　・置換炭化水素基が O で置換されたもの
E　・置換炭化水素基が N で置換されたもの
F　・・N ―アリール ,N ―（ピラゾルメチル）アセトアミド類
Z　その他

231/14　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
231/16　・・・・ハロゲン原子またはニトロ基 [2]
231/18　・・・・1 個の酸素原子または硫黄原子 [2]
231/20　・・・・・3 位または 5 位に結合する 1 個の酸素原子 [2]

A　該酸素がカルバミン酸エステルの酸素
B　4 位にアリールカルボニル基を有するもの
C　・3 または 5 位の酸素が水酸基または二重結合の酸素
D　・3 または 5 位の酸素が , 酸素置換炭化水素基に直接結合したもの
E　・3 または 5 位の酸素が , 窒素置換炭化水素基に直接結合したもの
F　・3 または 5 位の酸素が , 異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子に , 直接または炭化水素基を介して結合したもの
Z　その他

231/22　・・・・・・環の窒素原子に結合するアリール基を有するもの [2]

A　環の他の C に直接結合する異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子を有するもの
B　・環の他に C に , 異種原子に結合するカルボニル基が直接結合したもの
Z　その他

231/24　・・・・・・・分子中にスルホン基またはスルホン酸基を有するもの [2]
231/26　・・・・・・・フェニル環に置換基を有しまたは有しない 1―フェニル―3―メチル―5―ピラゾロン [2]
231/28　・・・・2 個の酸素原子または硫黄原子 [2]
231/30　・・・・・3 位および 5 位に結合しているもの [2]
231/32　・・・・・・酸素原子 [2]
231/34　・・・・・・・4 位に結合する水素原子 , または水素原子および炭素原子のみを含有する基のみを有するもの [2]
231/36　・・・・・・・4 位に結合し , 異種原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
231/38　・・・・窒素原子（ニトロ基 C07D231/16）[2]

A　環の N に直接結合するアリール基を有するもの
B　環の他の C に直接結合する異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子を有するもの
Z　その他

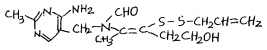
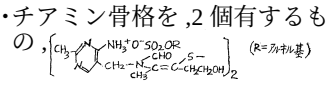
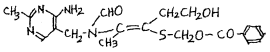
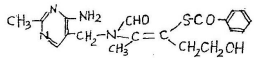
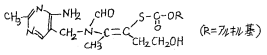
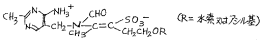
231/40　・・・・・該窒素原子がアシル化されているもの [2]
231/42　・・・・・ベンゼン―スルホンアミドピラゾール [2]
231/44　・・・・酸素原子および窒素原子または硫黄原子および窒素原子 [2]
231/46　・・・・・3 位または 5 位に酸素原子 ,4 位に窒素原子 [2]
231/48　・・・・・・該窒素原子に結合する炭化水素基を有するもの [2]
231/50　・・・・・・該窒素原子がアシル化されているもの [2]
231/52　・・・・・3 位に酸素原子 ,5 位に窒素原子またはその逆 [2]
231/54　・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
231/56　・・ベンゾピラゾール ; 水素添加したベンゾピラゾール [2]

A　3 位の C に直接結合する（置換）炭化水素基を有するもの
B　・アリール基またはアラルキル基

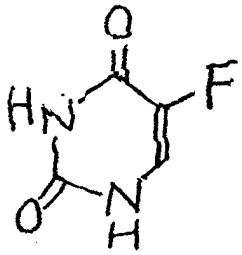
C　3 位の C に直接結合する異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子を有するもの
D　・3 位の C にハロゲン原子が直接結合したもの
E　・3 位の C に O 原子が直接結合したもの
F　・3 位の C に N 原子が直接結合したもの
Z　その他

233/00　**他の環と縮合していない** 1,3―**ジアゾール環または水素添加した** 1,3―**ジアゾールからなる複素環式化合物** [2]
233/02　・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合を有しないもの [2]
233/04　・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合を有するもの [2]
233/06　・・環の炭素原子に直接結合する , 水素原子 , または水素原子および炭素原子のみを含有する基のみを有するもの [2]
233/08　・・・環の炭素原子に直接結合し ,5 個以上の炭素原子を含有するアルキル基を有するもの [2]
233/10　・・・・環の窒素原子に直接結合する , 水素原子 , または水素原子および炭素原子のみを含有する基のみを有するもの [2]
233/12　・・・・環の窒素原子に結合する置換炭化水素基を有するもの [2]
233/14　・・・・・酸素原子によって置換された基 [2]
233/16　・・・・・窒素原子によって置換された基 [2]
233/18　・・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , によって置換された基 [2]
233/20　・・環の炭素原子に直接結合する置換された炭化水素基を有するもの [2]
233/22　・・・酸素原子によって置換された基 [2]
233/24　・・・ニトロ基の一部でない窒素原子によって置換された基 [2]
233/26　・・・異種原子が 3 個の結合により結合している炭素原子によって置換された基 [2]
233/28　・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
233/30　・・・酸素原子または硫黄原子 [2]
233/32　・・・・1 個の酸素原子 [2]
233/34　・・・・・エチレン―尿素 [2]
233/36　・・・・・環の窒素原子に結合し , 窒素原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
233/38　・・・・・環の窒素原子に直接結合するアシル基または異種原子を有するもの [2]
233/40　・・・・2 個またはそれ以上の酸素原子 [2]
233/42　・・・・硫黄原子 [2]
233/44　・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
233/46　・・・・該窒素原子に結合する水素原子のみを有するもの [2]
233/48　・・・・該窒素原子に結合する非環式炭化水素基または置換非環式炭化水素基を有するもの [2]
233/50　・・・・該窒素原子に直接結合する炭素環基を有するもの [2]
233/52　・・・・該窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
233/54　・環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個の二重結合を有するもの [2]
233/56　・・環の炭素原子に結合する , 水素原子 , または水素原子および炭素原子のみを含有する基のみを有するもの [2]
233/58　・・・環の窒素原子に結合する , 水素原子 , または水素原子および炭素原子のみを含有する基のみを有するもの [2]
233/60　・・・環の窒素原子に結合し , 酸素原子または硫黄原子により置換された炭化水素基 [2]
233/60　101　・・・・酸素原子または硫黄原子により置換された炭素環をもつもの
233/60　102　・・・・酸素原子または硫黄原子により置換された鎖状の炭化水素基をもつもの
233/60　103　・・・・・酸素原子
233/60　104　・・・・・・2 重結合の酸素原子または同一炭素原子に単結合する 2 個の酸素原子
233/61　・・・環の窒素原子に結合し , ニトロ基の一部でない窒素原子によって置換された炭化水素基を有するもの [3]
233/61　101　・・・・窒素原子により置換された炭素環をもつもの
233/61　102　・・・・窒素原子により置換された鎖状の炭化水素基をもつもの
233/61　103　・・・・・窒素原子が置換している炭素原子の少なくとも 2 個の他の結合が異種原子への結合であるもの
233/62　・・・環の窒素原子に結合するトリアリールメチル基を有するもの [2]
233/64　・・環の炭素原子に結合する置換された炭化水素基を有するもの , 例 . ヒスチジン（ペプチド C07K1/00,C07K5/00,C07K7/00,C07K11/00）[2]
233/64　101　・・・置換された炭素環をもつもの
233/64　102　・・・置換された鎖状の炭化水素基をもつもの
233/64　103　・・・・酸素原子
233/64　104　・・・・硫黄原子
233/64　105　・・・・窒素原子
233/64　106　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち、そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子
233/66　・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
233/68　・・・ハロゲン原子 [2]
233/70　・・・1 個の酸素原子 [2]
233/72　・・・2 個の酸素原子 , 例 . ヒダントイン [2]
233/74　・・・・他の環原子に結合する , 水素原子 , または水素原子および炭素原子のみを含有する基のみを有するもの [2]

233/76　・・・・環の第 3 番目の炭素原子に結合する置換炭化水素基を有するもの [2]
233/78　・・・・・酸素原子によって置換された基 [2]
233/80　・・・・環の窒素原子に直接結合する異種原子またはアシル基を有するもの [2]
233/82　・・・・・ハロゲン原子 [2]
233/84　・・・硫黄原子 [2]
233/86　・・・酸素原子および硫黄原子 , 例 . チオヒダントイン [2]
233/88　・・・窒素原子 , 例 . アラントイン [2]
233/90　・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対するものである炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 [2]
A　該炭素原子が 4 位又は 5 位のいずれか一方に結合するもの
B　該炭素原子が 4 位及び 5 位のいずれにも結合するもの
C　該炭素原子が 2 位に結合するもの
Z　その他のもの
233/91　・・・ニトロ基 [2]
233/92　・・・・4 位または 5 位に結合しているもの [2]
233/93　・・・・・他の環原子に結合し , ハロゲン原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
233/94　・・・・・他の環原子に結合し , 酸素原子または硫黄原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
233/95　・・・・・他の環原子に結合し , 窒素原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]
233/96　・環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個の二重結合を有するもの [2]
235/00　**他の環と縮合した** 1,3―**ジアゾール環または水素添加した** 1,3―**ジアゾール環からなる複素環式化合物** [2]
235/02　・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
A　他の環と縮合した、水素添加されてもよい 1,3 ―ジアゾール環（ベンズイミダゾールを除く）
B　・オルソ縮合環
C　・・シクロヘプトイミダゾール
D　・・ナフトイミダゾール
E　・スピロ縮合環
Z　その他
235/04　・・ベンズイミダゾール ; 水素添加したベンズイミダゾール [2]
235/06　・・・2 位に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
235/08　・・・・水素原子および炭素原子のみからなる基 [2]
235/10　・・・・ハロゲン原子またはニトロ基によって置換された基 [2]
235/12　・・・・酸素原子によって置換された基 [2]
235/14　・・・・窒素原子によって置換された基（ニトロ基によって C07D235/10）[2]
235/16　・・・・異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , によって置換された基 [2]
235/18　・・・2 位に直接結合するアリール基を有するもの [2]
235/20　・・・直接にまたは炭化水素基または置換された炭化水素基をへて , 互に連結した 2 個のベンズイミダゾリル―2 基 [2]
235/22　・・・環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの（C07D235/10 が優先）[2]
235/24　・・・2 位に直接結合する , 異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 2 位に直接結合したもの [2]
235/26　・・・・酸素原子 [2]
A　2 位に直接結合する酸素原子を有するベンズイミダゾール
B　・酸素原子が二重結合の O または ― OH
C　・・1 または 3 位に置換基を有するもの
Z　その他
235/28　・・・・硫黄原子 [2]
A　2 位に直接結合する硫黄原子を有するベンズイミダゾール
B　・硫黄原子が二重結合の S または ― SH
C　・置換されてもよい炭化水素基で置換された S
D　・・置換されてもよい炭化水素基がアラルキル基
E　・・炭化水素基がカルボン酸類で置換されたもの
Z　その他
235/30　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
A　2 位に直接結合する窒素原子（NO_2 は除く）を有するベンズイミダゾール
B　・1 または 3 位に置換基を有するもの
C　・・1 または 3 位に異種原子が直結したもの
Z　その他
235/32　・・・・・置換基を有し , または有しないベンズイミダゾール―2―カルバミックアシッド ; そのエステル ; その硫黄類似体 [2]
A　ベンズイミダゾール― 2 ―カルバミツクアシツド、そのエステル、その硫黄誘導体
B　・5 位に異種原子が直接結合したもの
C　・・異種原子が O であるもの
D　・・異種原子が S であるもの
Z　その他
237/00　1,2―**ジアジン環または水素添加した** 1,2―**ジアジン環からなる複素環式化合物** [2]
237/02　・他の環と縮合していないもの [2]
237/04　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に ,2 個以下の二重結合を有するもの [2]
237/06　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個の二重結合を有するもの [2]

237/08　・・・環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
237/10　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
237/12　・・・・ハロゲン原子またはニトロ基 [2]
237/14　・・・・酸素原子 [2]
237/16　・・・・・2 個の酸素原子 [2]
237/18　・・・・硫黄原子 [2]
237/20　・・・・窒素原子（ニトロ基 C07D237/12）[2]
237/22　・・・・窒素原子および酸素原子 [2]
237/24　・・・・異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
237/26　・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
237/28　・・シンノリン [2]
237/30　・・フタラジン [2]
237/32　・・・窒素含有環の炭素原子に直接結合する酸素原子を有するもの [2]
237/34　・・・窒素含有環の炭素原子に直接結合する窒素原子を有するもの , 例 . ヒドラジン基 [2]
237/36　・・ベンゾシンノリン [2]
239/00　1,3―**ジアジン環または水素添加した** 1,3―**ジアジン環からなる複素環式化合物** [2]
239/02　・他の環と縮合していないもの [2]
239/04　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合を有しないもの [2]
239/06　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合を有するもの [2]
239/08　・・・2 位に直接結合する異種原子を有するもの [2]
239/10　・・・・酸素原子または硫黄原子 [2]
239/12　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
239/14　・・・・・該窒素原子に結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基を有するもの [2]
239/16　・・・・・該窒素原子がアシル化されているもの [2]
239/18　・・・・・ニトロ基を除く , 該窒素原子に結合する異種原子を有するもの , 例 . ヒドラジン基 [2]
239/20　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個の二重結合を有するもの [2]
239/22　・・・環の炭素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
239/24　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個またはそれ以上の二重結合を有するもの [2]
239/26　・・・環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
239/28　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
239/30　・・・・ハロゲン原子またはニトロ基 [2]
239/32　・・・・1 個の酸素原子 , 硫黄原子または窒素原子 [2]
239/34　・・・・・1 個の酸素原子 [2]
239/36　・・・・・・二重結合の酸素原子または置換されていない水酸基として [2]
239/38　・・・・・1 個の硫黄原子 [2]
239/40　・・・・・・二重結合の硫黄原子または置換されていないメルカプト基として [2]
239/42　・・・・・1 個の窒素原子（ニトロ基 C07D239/30）[2]
A　チアミン誘導体
B　・ジスルフィド型 ,

C　・・チアミン骨格を ,2 個有するもの ,

D　・チオール型 ,

E　・S ―アシル型 ,

F　・S ―カルボニル型 ,

G　・スルホン又はスルフィン型 ,

H　スルホニル尿素誘導体
Z　その他
239/46　・・・・2 個またはそれ以上の酸素原子 , 硫黄原子または窒素原子 [2]
239/47　・・・・・1 個の窒素原子および 1 個の酸素原子または硫黄原子 , 例 . シトシン [3]
A　スルホニル尿素誘導体 , スルホニルチオ尿素誘導体
Z　その他
239/48　・・・・・2 個の窒素原子 [2]
239/49　・・・・・・5 位に結合する , アラルキル基 , または置換アラルキル基を有するもの , 例 . トリメトプリム [3]
239/50　・・・・・3 個の窒素原子 [2]
239/52　・・・・・2 個の酸素原子 [2]
239/54　・・・・・・二重結合の酸素原子または置換されていない水酸基として [2]
239/545　・・・・・・・他の異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が環の炭素原子に直接結合したもの [5]
239/553　・・・・・・・・環の炭素原子に直接結合したハロゲン原子またニトロ基を有するもの , 例 . フルオロウラシル [5]

A　ハロゲノウラシル , 例 .



Z　その他

239/557　・・・・・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が環の炭素原子に直接結合したもの , 例 . オロチン酸 [5]

239/56　・・・・・1 個の酸素原子および 1 個の硫黄原子 [2]

239/58　・・・・・2 個の硫黄原子 [2]

239/60　・・・・・3 個またはそれ以上の酸素原子または硫黄原子 [2]

239/62　・・・・・・バルビツール酸 [2]

239/64　・・・・・・・有機塩基との塩 ; 有機複化合物 [2]

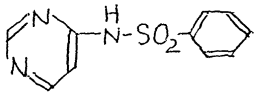
239/66　・・・・・・チオバルビツール酸 [2]

239/68　・・・・・・・有機塩基との塩 ; 有機複化合物 [2]

239/69　・・・・ベンゼン―スルホンアミド―ピリミジン [3]

A　2 位に置換したもの

B　4 位に置換したもの , 例 .



Z　その他

239/70　・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]

239/72　・・キナゾリン ; 水素添加したキナゾリン [2]

239/74　・・・複素環の環の炭素原子に結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]

239/76　・・・・N―オキシド [2]

239/78　・・・2 位に直接結合する異種原子を有するもの [2]

239/80　・・・・酸素原子 [2]

239/82　・・・・・4 位に結合するアリール基を有するもの [2]

239/84　・・・・窒素原子 [2]

239/86　・・・4 位に直接結合する異種原子を有するもの [2]

239/88　・・・・酸素原子 [2]

239/90　・・・・・2 位または 3 位に結合する非環状基を有するもの [2]

239/91　・・・・・2 位または 3 位に結合するアリール基またはアラルキル基を有するもの [2]

239/92　・・・・・複素環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]

239/93　・・・・硫黄原子 [2]

239/94　・・・・窒素原子 [2]

239/95　・・・2 位および 4 位に直接結合する異種原子を有するもの [2]

239/96　・・・・2 個の酸素原子 [2]

241/00　1,4―**ジアジン環または水素添加した** 1,4―**ジアジン環からなる複素環式化合物** [2]

環の炭素原子に直接結合する水素原子のみを有するピペラジンは 295/00 に分類する。[2]

241/02　・他の環と縮合していないもの [2]

241/04　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合を有しないもの [2]

241/06　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個または 2 個の二重結合を有するもの [2]

241/08　・・・環の炭素原子に直接結合する酸素原子を有するもの [2]

241/10　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個の二重結合を有するもの [2]

241/12　・・・環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]

241/14　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]

241/16　・・・・ハロゲン原子 ; ニトロ基 [2]

241/18　・・・・酸素原子または硫黄原子 [2]

241/20　・・・・窒素原子（ニトロ基 C07D241/16）[2]

241/22　・・・・・ベンゼン―スルホンアミドピラジン [2]

241/24　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 [2]

241/26　・・・・・環の炭素原子に直接結合する窒素原子を有するもの [2]

241/28　・・・・・・該異種原子に結合する炭素原子が , 酸素 , 硫黄または窒素原子に対する二重結合をもつもの [2,5]

241/30　・・・・・・・該異種原子が結合している炭素原子が , 以下の部分構造となっているもの－ C（＝ X）－ X － C（＝ X）－ X － X は酸素原子 , 硫黄原子またはイミノ基 , 例 . イミドイルグアニジン [2,5]

241/32　・・・・・・・・（アミノ―ピラジノイル）グアニジン [2,5]

241/34　・・・・・・・（アミノ―ピラジン カルボンアミド）グアニジン [2,5]

241/36　・炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]

241/38　・・環の窒素原子に直接結合する水素原子または炭素原子のみを有するもの [2]

241/40　・・・ベンゾピラジン [2]

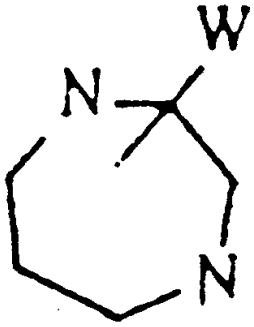
241/42　・・・・複素環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみを有するもの [2]

241/44　・・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が複素環の炭素原子に直接結合したもの [2]

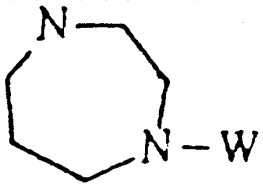
241/46　・・・フェナジン [2]

241/48　・・・・環の窒素原子に直接結合し , 窒素原子によって置換された炭化水素基を有するもの [2]

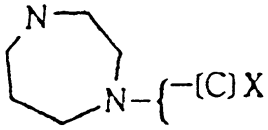
241/50　‥環の窒素原子に直接結合する異種原子を有するもの [2]
241/52　･･･酸素原子 [2]
241/54　･･･窒素原子 [2]
243/00　異項原子として 2 個の窒素原子のみを有する 7 員環からなる複素環式化合物 [2]
243/02　･1,2 位に窒素原子を有するもの [2]
243/04　･1,3 位に窒素原子を有するもの [2]
243/06　･1,4 位に窒素原子を有するもの [2]
243/08　‥他の環と縮合していないもの [2]
243/08　501　･･･環の炭素原子に置換基を有するもの



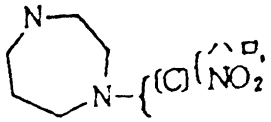
243/08　502　･･･環の窒素原子に置換基を有するもの



243/08　503　････異種原子で置換された炭化水素基を置換基として有するもの

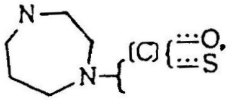


243/08　504　･････異種原子がハロゲンまたは NO_2



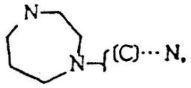
243/08　505　･････異種原子が O または S

O or S

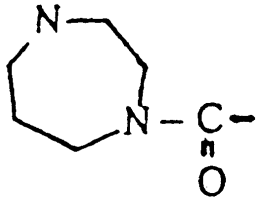


243/08　506　･････異種原子が N

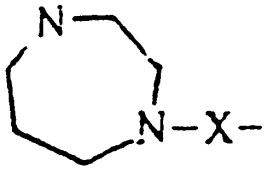
N



243/08　507　････環の窒素原子がアシル化されたもの

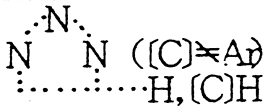


243/08　508　････環の窒素原子に異種原子が直接結合したもの



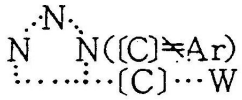
243/10　‥炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
243/12　･･･1,5―ベンゾジアゼピン ; 水素添加した 1,5―ベンゾジアゼピン [2]
243/14　･･･1,4―ベンゾジアゼピン ; 水素添加した 1,4―ベンゾジアゼピン [2]
243/16　････5 位がアリール基により置換されているもの [2]
243/18　･････2 位が窒素原子 , 酸素原子または硫黄原子によって置換されているもの [2]
243/20　･････窒素原子 [2]
243/22　･････硫黄原子 [2]
243/24　･････酸素原子 [2]
243/26　････････ベンゾジアゼピン骨格を含有する化合物からの製造 [2]
243/28　････････複素環を含有しない化合物より , ベンゾジアゼピン骨格を形成する過程を含む製造 [2]
243/30　････････複素環を含有する化合物より , ベンゾジアゼピン骨格を形成する過程を含む製造 [2]
243/32　･････････フタルイミド環系または水素添加したフタルイミド環系を含むもの [2]
243/34　･････････キナゾリン環系または水素添加したキナゾリン環系を含むもの [2]
243/36　･････････インドール環系または水素添加したインドール環系を含むもの [2]
243/38　･･･6 員環と〔b,e〕―または〔b,f〕―で縮合しているもの [2]
245/00　異項原子として 2 個の窒素原子のみを含有する 8 員環以上の環からなる複素環式化合物 [2]
245/02　･他の環と縮合していないもの [2]
245/04　･炭素環または炭素環系と縮合しているもの [2]
245/06　‥1 個の 6 員環と縮合しているもの [2]
247/00　異項原子として 2 個の窒素原子のみをもつ環を含有し ,C07D229/00-C07D245/00 **までの 2 以上のメイングループに一致する複素環式化合物** [2]
247/02　･1,3 位に窒素原子をもつもの [2]
249/00　異項原子として 3 個の窒素原子のみをもつ 5 員環を含有する複素環式化合物 [2]
249/02　･他の環と縮合していないもの [2]
249/04　‥1,2,3―トリアゾール ; 水素添加した 1,2,3―トリアゾール [2]

249/04　501　・・・複素環の炭素原子に水素原子またはアリール基ではない炭化水素基が直接結合したもの

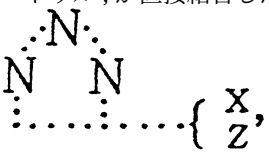


249/04　502　・・・・複素環の窒素原子にアリール基ではない酸素置換炭化水素基が直接結合したもの

249/04　503　・・・複素環の炭素原子にアリール基ではない置換炭化水素基が直接結合したもの



249/04　504　・・・複素環の炭素原子に置換基として異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの



249/04　505　・・・・複素環の炭素原子に硫黄原子が直接結合したもの

249/04　506　・・・・複素環の炭素原子に異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの

249/06　・・・環の原子に直接結合したアリール基をもつもの [2]

249/06　501　・・・・複素環の窒素原子にアリール基が直接結合したもの

249/06　502　・・・・複素環の炭素原子にアリール基以外の置換炭化水素基が直接結合したもの

249/06　503　・・・・複素環の炭素原子に置換基として異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの

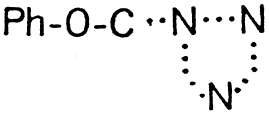
249/06　504　・・・・・複素環の炭素原子に異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの

249/08　・・1,2,4―トリアゾール ; 水素添加した 1,2,4―トリアゾール [2]

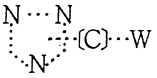
249/08　501　・・・ビスまたはトリフェニルメチルトリアゾール

249/08　502　・・・トリアゾリルベンゾフェノン

249/08　503　・・・フェノキシメチルトリアゾール



249/08　504　・・・・複素環に置換炭化水素基が直接結合したもの



249/08　505　・・・・・複素環に OH で置換された炭化水素基が直接結合したもの

249/08　506　・・・・・・OH で置換された炭化水素基がさらに別の異種原子で置換されているもの

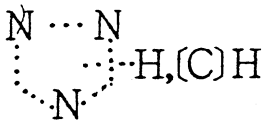
249/08　507　・・・・・複素環にエーテルで置換された炭化水素基が直接結合したもの

249/08　508　・・・・・複素環にオキソ基で置換された炭化水素基が直接結合したもの

249/08　509　・・・・・複素環に異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , で置換された炭化水素基が直接結合したもの

249/08　511　・・・1,2,4―トリアゾールまたは水素添加した 1,2,4―トリアゾールであって ,C07D249/08 501 から C07D249/08 509 に包含されないもの

249/08　512　・・・・複素環に水素原子または炭化水素基が直接結合したもの



249/08　513　・・・・複素環の窒素原子に酸素で置換された炭素環基が直接結合したもの

249/08　514　・・・・複素環の窒素原子に酸素で置換された炭素環置換鎖状炭化水素基が直接結合したもの

249/08　515　・・・・複素環の窒素原子に酸素で置換された鎖状炭化水素基が直接結合したもの

249/08　516　・・・・・複素環の窒素原子に－ C（O）C が直接結合したもの

249/08　517　・・・・・・複素環の窒素原子に－ C（O）C（O）C が直接結合したもの

249/08　518　・・・・・複素環の窒素原子に－ CC（O）C が直接結合したもの

249/08　519　・・・・・・複素環の窒素原子に－ CC（OH）C が直接結合したもの

249/08　520　・・・・・・複素環の窒素原子に－ CC（＝ O）C が直接結合したもの

249/08　521　・・・・・・複素環の窒素原子に－ CC（O）Ar が直接結合したもの

249/08　522　・・・・・・複素環の窒素原子に－ CC（O）C（O）が直接結合したもの

249/08　523　・・・・・複素環の窒素原子に－ CC －酸素置換炭化水素基が直接結合したもの

249/08　524　・・・・・複素環の窒素原子に－ C（＝ C）C（O）が直接結合したもの

249/08　525　・・・・・複素環の窒素原子に－ C ＝ CC（O）が直接結合したもの

249/08　526　・・・・複素環の窒素原子に硫黄置換炭化水素基が直接結合したもの

249/08　527　・・・・複素環の窒素原子に窒素置換炭化水素基が直接結合したもの

249/08　528　・・・・・複素環の窒素原子に－ NC（＝ O）置換炭化水素基が直接結合したもの

249/08　529　・・・・・複素環の窒素原子に＝ NO 置換炭化水素基が直接結合したもの

249/08　530　・・・・複素環の窒素原子に異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が炭素鎖を介しまたは介さずに結合したもの

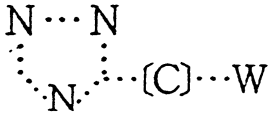
249/08　531　・・・・・複素環の窒素原子に異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの

249/08　532　・・・・・複素環の窒素原子に－ C（＝ O）O 置換炭化水素基が直接結合したもの

249/08　533　・・・・・複素環の窒素原子に－ C（＝ O）N 置換炭化水素基が直接結合したもの

249/08　534　・・・・・複素環の窒素原子にニトリル置換炭化水素基が直接結合したもの

249/08　535　・・・・複素環の炭素原子に置換炭化水素基が直接結合したもの



249/08　536　・・・・複素環の窒素原子に異種原子が直接結合したもの

249/08　537　・・・・トリアゾール環を 2 個以上有するもの

249/10　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]

249/12　・・・・酸素または硫黄原子 [2]

249/12　501　・・・・・酸素原子

249/12　502　・・・・・・エーテル

249/12　503　・・・・・・オキソ基

249/12　504　・・・・・・・複素環の窒素原子に置換炭化水素基が直接結合したもの

249/12　505　・・・・・・・・複素環の窒素原子に置換アリール基が直接結合したもの

249/12　506　・・・・・・・複素環の炭素原子に置換炭化水素基が直接結合したもの

249/12　507　・・・・・・・複素環の窒素原子に異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの

249/12　508　・・・・・・・オキソ基を 2 個有するもの

249/12　509　・・・・・硫黄原子

249/12　510　・・・・・・－ SH

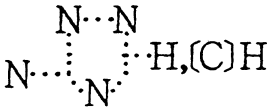
249/12　511　・・・・・・チオエーテル

249/12　512　・・・・・・・複素環の炭素原子に置換炭化水素基置換－ S －が直接結合したもの

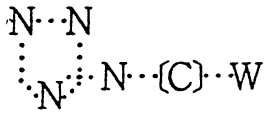
249/12　513　・・・・・・複素環の窒素原子に異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの

249/14　・・・・窒素原子 [2]

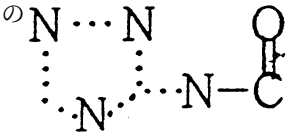
249/14　501　・・・・・複素環に水素または炭化水素基が直接結合したもの



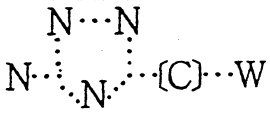
249/14　502　・・・・・複素環の炭素原子に置換炭化水素基置換 N が直接結合したもの



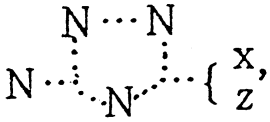
249/14　503　・・・・・複素環の炭素原子に－ NC（＝ O）置換炭化水素基が直接結合したもの



249/14　504　・・・・・複素環の炭素原子に置換炭化水素基が直接結合したもの



249/14　505　・・・・・複素環の炭素原子に異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの



249/14　506　・・・・・・窒素原子

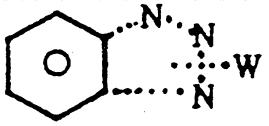
249/14　507　・・・・・複素環の窒素原子に異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を持ち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミドまたはニトリル , が直接結合したもの

249/16　・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]

249/18　・・ベンゾトリアゾール [2]

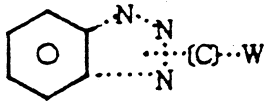
249/18　501　・・・複素環に水素または炭化水素基が直接結合したもの

249/18　502　・・・複素環に置換基が直接結合したもの



249/18　503　・・・・複素環に酸素原子が直接結合したもの

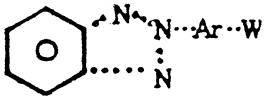
249/18　504　・・・複素環に置換炭化水素基が直接結合したもの



249/18　505　・・・・複素環に酸素置換炭化水素基が直接結合したもの

249/20　・・・2 位に直接結合したアリール基をもつもの [2]

249/20　501　・・・・置換アリール

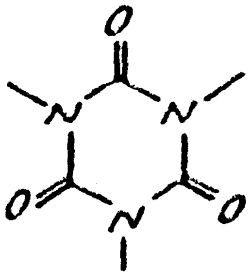


249/20　502　・・・・・酸素で置換されたアリール

249/20　503　・・・・・・エーテルで置換されたアリール

249/20　504　・・・・・製法

249/22　‥ナフトトリアゾール [2]
249/24　･･･2 位に直接結合したスチルベン基をもつもの [2]
251/00　1,3,5―**トリアジン環を含有する複素環式化合物** [2]
S　メラミンを除くトリアジン類の精製
Z　その他
251/02　･他の環と縮合していないもの [2]
251/04　‥環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合をもたないもの [2]
251/06　･･･環の窒素原子に直接結合した異種原子をもつもの [2]
251/08　‥環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合をもつもの [2]
251/10　‥環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個の二重結合をもつもの [2]
251/12　‥環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個の二重結合をもつもの [2]
251/14　･･･環の炭素原子の少なくとも 1 個に水素原子または炭素原子が直接結合したもの [2]
251/16　････1 個の環の炭素原子のみに結合したもの [2]
A　複素環に置換基が直結
B　･置換基が酸素
C　複素環に置換炭化水素基が直結
D　スルホニル尿素を含有
E　･フェニルスルホニル尿素を含有
F　‥フェニル環に置換基が直結
G　･･･置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子
Z　その他
251/18　･････他の 2 個の環の炭素原子に窒素原子が直接結合したもの , 例 . グアナミン [2]
A　複素環に水素 , 炭化水素基が直結
B　複素環の炭素原子に置換炭化水素基を有する窒素が直結
C　複素環の炭素原子に異種原子基を有する窒素 , 置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子を有する窒素で直結
D　複素環の炭素原子に置換炭化水素基が直結
E　･複素環の炭素原子に直結する窒素に水素 , 炭化水素基のみ直結
F　スルホニル尿素を含有
G　･フェニルスルホニル尿素を含有
H　‥フェニル環に置換基が直結
J　製法
Z　その他
251/20　･････環の炭素原子に直接結合する窒素原子をもたないもの [2]
251/22　････2 個の環の炭素原子に結合したもの [2]
A　異種原子が酸素
B　異種原子が硫黄
C　異種原子が窒素
D　スルホニル尿素を含有
Z　その他
251/24　････3 個の環の炭素原子に結合したもの [2]
251/26　･･･環の炭素原子に異種原子のみが結合したもの [2]
251/28　････ハロゲン原子のみ , 例 . シアヌールクロライド [2]
A　ハロゲンが塩素
B　･製法
C　‥固体生成物
D　ハロゲンが弗素
Z　その他
251/30　････酸素原子のみ [2]
251/32　･････シアヌール酸 ; イソシアヌール酸 [2]
A　シアヌール酸
B　･製法
C　‥精製
D　イソシアヌール酸
Z　その他
251/34　･････シアヌール酸またはイソシアヌール酸のエステル [2]
A　構造を



有するもの
B　･複素環の窒素原子に炭化水素基が直結
C　‥製法
D　･複素環の窒素原子に置換炭化水素基が直結
E　‥置換基が酸素含有基
F　･･･置換基がエーテル基
G　･･･置換基がエステル基
H　‥炭化水素基がアルキレンを有するか又は有しないアリール基
K　‥置換基がイソシアナート基
L　･･･製法
M　シアヌール酸エステル
N　･複素環の炭素原子にアリール基が酸素を介して直結
P　‥複素環の炭素原子に酸素含有アリール基が酸素を介して直結
Q　･複素環の炭素原子に鎖状置換炭化水素基が酸素を介して直結
Z　その他
251/36　･････環の窒素原子に直接結合したハロゲン原子をもつもの [2]
A　製法
B　･塩素化
C　･安定化
D　･乾燥 , 造粒
Z　その他
251/38　････硫黄原子 [2]
A　複素環の炭素原子に SH, ＝ S が直結

B　複素環の炭素原子に硫黄を介して炭化水素基が直結
C　複素環の炭素原子に硫黄を介して置換炭化水素基が直結
D　複素環の炭素原子に硫黄を介して異種原子 , 又は置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が直結
Z　その他

251/40　‥‥窒素原子 [2]
251/42　‥‥‥1 個の窒素原子 [2]
251/44　‥‥‥‥他の 2 個の環の炭素原子にハロゲン原子が直接結合したもの [2]
A　複素環に炭化水素基が直結
B　複素環の炭素原子に窒素を介して置換炭化水素基が直結
C　・炭化水素基がアリール基
D　・複素環の炭素原子に N ＝ C・異種原子が直結
E　複素環の炭素原子に窒素を介して異種原子又は置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が直結
Z　その他

251/46　‥‥‥‥他の 2 個の環の炭素原子に酸素または硫黄原子が直接結合したもの [2]
A　複素環の炭素原子に酸素が直結
B　複素環の炭素原子に硫黄が直結
C　複素環の炭素原子に窒素を介して置換炭化水素が直結
D　・複素環の炭素原子に NC ＝異種原子が直結
E　スルホニル尿素を含有
F　・フェニルスルホニル尿素を含有
G　・・フェニル環に置換基が直結
H　・・・置換基が酸素 , 硫黄
Z　その他

251/48　‥‥‥2 個の窒素原子 [2]
251/50　‥‥‥‥第 3 番目の環の炭素原子にハロゲン原子が直接結合したもの [2]
A　複素環に炭化水素基が直結
B　複素環の炭素原子に窒素を介して置換炭化水素基が直結
C　・置換基が異種原子に対する結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子
D　・炭化水素基がアリール基
E　複素環の炭素原子に窒素を介して異種原子 , 又は置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が直結
Z　その他

251/52　‥‥‥‥第 3 番目の環の炭素原子に酸素または硫黄原子が直接結合したもの [2]
A　複素環の炭素原子に酸素が直結
B　複素環の炭素原子に硫黄が直結
C　・複素環の炭素原子に硫黄を介して異種原子 , 又は置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が直結
D　複素環の炭素原子に窒素を介して置換炭化水素基が直結
E　・置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子
F　複素環の炭素原子に窒素を介して異種原子 , 又は置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が直結
G　スルホニル尿素含有
Z　その他

251/54　‥‥‥3 個の窒素原子 [2]
251/56　‥‥‥‥メラミンの製造 [2]
251/58　‥‥‥‥‥シアナミド , ジシアナミドまたはカルシウムシアナミドからの製造 [2]
251/60　‥‥‥‥‥尿素または二酸化炭素とアンモニアからの製造 [2]
A　触媒
B　添加物
C　反応パラメーター
D　反応工学的操作
E　・冷却
F　・リサイクル
G　・多段操作
H　装置 , 材質
Z　その他

251/62　‥‥‥‥メラミンの精製 [2]
251/64　‥‥‥‥メラミンとアルデヒドとの縮合生成物 ; その誘導体（ポリ縮合物 C08G）[2]
251/66　‥‥‥‥メラミンの窒素原子に異種原子が直接結合した誘導体 [2]
251/68　‥‥‥‥トリアジニルアミノスチルベン [2]
251/70　‥‥‥‥他の置換メラミン [2]
A　複素環に窒素を介して炭化水素基が直結
B　複素環の炭素原子に窒素を介して置換炭化水素基が直結
C　・置換基が酸素
D　・置換基が窒素
E　・置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子
F　・炭化水素基がアリール基
G　複素環の炭素原子に窒素を介して置換基が異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が直結
H　複素環の窒素原子に異種原子が直結
Z　その他

251/72　・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]

253/00 **異項原子として 3 個の窒素原子のみをもつ 6 員環を含有し** ,C07D251/00 **に属さない複素環式化合物** [2]
253/02 ･他の環と縮合していないもの [2]
253/04 ･･1,2,3―トリアジン [2]
253/06 ･･1,2,4―トリアジン [2]
253/065 ･･･環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個の二重結合を有するもの [5]
253/07 ････異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [5]
253/075 ･････3,5 位に 2 個の異種原子 [5]
253/08 ･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
253/10 ･･縮合した 1,2,4―トリアジン ; 水素添加し縮合した 1,2,4―トリアジン [5]
255/00 **異項原子として 3 個の窒素原子のみをもつ環を含有し , グループ** C07D249/00 -C07D253/00 **までに属さない複素環式化合物** [2]
255/02 ･他の環と縮合していないもの [2]
255/04 ･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
257/00 **異項原子として 4 個の窒素原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]
257/02 ･他の環と縮合していないもの [2]
257/04 ･･5 員環 [2]
A 環の炭素原子に水素 , 炭化水素基 , 置換炭化水素基が直結
B ･酸素または硫黄原子で置換された基
C ･窒素原子で置換された基
D ･異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対するものである炭素原子で置換された基
E ･環の炭素原子に炭素環が直接結合したもの
F 環の炭素原子に異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対するものである炭素原子が直結
G ･酸素原子が直結したもの
H ･硫黄原子が直結したもの
J ･･無置換の硫黄原子
K ･･･環の窒素原子に , 異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対するものである炭素原子で置換された鎖状炭化水素基が結合したもの
L ･･･環の窒素原子に炭素環が直接結合したもの
M ･･炭素原子で置換された硫黄原子
N ･･･環の窒素原子に炭素原子が直接結合したもの
P ･異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対するものである炭素原子
Z その他
257/06 ･･･環の炭素原子に直接結合した窒素原子をもつもの [2]
A アシル化された窒素原子
Z その他
257/08 ･･6 員環 [2]
257/10 ･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
257/12 ･･4 個の窒素原子をもつ 6 員環 [2]
259/00 **異項原子として 5 個以上の窒素原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]

異項原子として窒素原子および酸素原子のみをもつ複素環式化合物 [2]
261/00 1,2―**オキサゾールまたは水素添加した** 1,2―**オキサゾール環を含有する複素環式化合物** [2]
261/02 ･他の環と縮合していないもの [2]
261/04 ･･環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合をもつもの [2]
261/06 ･･環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個またはそれ以上の二重結合をもつもの [2]
261/08 ･･･環の炭素原子に直接結合した , 水素原子 , 炭化水素または置換炭化水素基のみをもつもの [2]
261/10 ･･･異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
261/12 ････酸素原子 [2]
261/14 ････窒素原子 [2]
261/16 ･････ベンゼン―スルホンアミドイソオキサゾール [2]
261/18 ････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
261/20 ･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
263/00 1,3―**オキサゾールまたは水素添加した** 1,3―**オキサゾール環を含有する複素環式化合物** [2]
263/02 ･他の環と縮合していないもの [2]
263/04 ･･環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合をもたないもの [2]
263/06 ･･･酸素原子で置換された炭化水素基が環の炭素原子に結合したもの [2]
263/08 ･･環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合をもつもの [2]
263/10 ･･･環の炭素原子に水素 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]
263/12 ････水素原子および炭素原子のみを含有する置換基をもつもの [2]
263/14 ････酸素原子で置換された基をもつもの [2]
263/16 ･･･異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
263/18 ････酸素原子 [2]
263/20 ･････2 位に結合したもの [2]
263/22 ･･････環の他の炭素原子に , 水素原子または水素原子と炭素原子のみを含有する基のみが直接結合したもの [2]
263/24 ･･････環の他の炭素原子に , 酸素原子で置換された炭化水素基が結合したもの [2]

263/26　・・・・・・環の窒素原子に , 異種原子またはアシル基が直接結合したもの [2]

263/28　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]

263/30　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個または 3 個の二重結合をもつもの [2]

263/32　・・・環の炭素原子に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]

263/34　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]

263/36　・・・・1 個の酸素原子 [2]

263/38　・・・・・2 位に結合したもの [2]

263/40　・・・・・4 位に結合したもの [2]

263/42　・・・・・5 位に結合したもの [2]

263/44　・・・・2 個の酸素原子 [2]

263/46　・・・・硫黄原子 [2]

263/48　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]

263/50　・・・・・ベンゼン―スルホンアミドオキサゾール [2]

263/52　・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]

263/54　・・ベンズオキサゾール ; 水素添加したベンズオキサゾール [2]

263/56　・・・2 位に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]

263/57　・・・・アリールまたは置換アリール基 [5]

263/58　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 2 位に直接結合したもの [2]

263/60　・・ナフトオキサゾール ; 水素添加したナフトオキサゾール [2]

263/62　・・1,3―オキサゾール含有縮合環を 2 個またはそれ以上もつもの [2]

263/64　・・・6 員芳香族環またはそのような環を含有する環系を有する鎖により 2,2 ’ 位で結合しているもの [5]

265/00　異項原子として 1 個の窒素原子と 1 個の酸素原子のみをもつ 6 員環を含有する複素環式化合物 [2]

環の炭素原子に水素原子のみが直接結合するモルホリンは , グループ 295/00 に分類する。[2]

265/02　・1,2―オキサジン ; 水素添加した 1,2―オキサジン [2]

265/04　・1,3―オキサジン ; 水素添加した 1,3―オキサジン [2]

265/06　・・他の環と縮合していないもの [2]

265/08　・・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合をもつもの [2]

265/10　・・・・環の炭素原子に直接結合した酸素原子をもつもの [2]

265/12　・・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]

265/14　・・・1 個の 6 員環と縮合したもの [2]

265/16　・・・・2 位および 4 位に水素原子または炭素原子のみが直接結合したもの [2]

265/18　・・・・2 位に異種原子が直接結合したもの [2]

265/20　・・・・4 位に異種原子が直接結合したもの [2]

265/22　・・・・・酸素原子 [2]

265/24　・・・・2 位および 4 位に異種原子が直接結合したもの [2]

265/26　・・・・・2 個の酸素原子 , 例 . イサト酸無水物 [2]

265/28　・1,4―オキサジン ; 水素添加した 1,4―オキサジン [2]

265/30　・・他の環と縮合していないもの [2]

265/32　・・・環の炭素原子に直接結合した酸素原子をもつもの [2]

265/33　・・・・3,5 位に 2 個の酸素原子 [5]

265/34　・・炭素環と縮合したもの [2]

265/36　・・・1 個の 6 員環と縮合したもの [2]

265/38　・・・2 個の 6 員環と〔b,e〕―縮合したもの [2]

267/00　異項原子として 1 個の窒素原子と 1 個の酸素原子のみをもつ 7 員以上の環を含有する複素環式化合物 [2]

267/02　・7 員環 [2]

267/04　・・1,2 位に異項原子をもつもの [2]

267/06　・・1,3 位に異項原子をもつもの [2]

267/08　・・1,4 位に異項原子をもつもの [2]

267/10　・・・他の環と縮合していないもの [2]

267/12　・・・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]

267/14　・・・・1 個の 6 員環と縮合したもの [2]

267/16　・・・・2 個の 6 員環と縮合したもの [2]

267/18　・・・・・〔b,e〕―縮合 [2]

267/20　・・・・・〔b,f〕―縮合 [2]

267/22　・8 員環 [2]

269/00　異項原子として 1 個の窒素原子と 1 個の酸素原子のみをもつ環を含有し ,C07D261/00-C07D267/00 **までの 2 以上のメイングループに一致する複素環式化合物** [2]

269/02　・1,3 位に異項原子をもつもの [2]

271/00　異項原子として 2 個の窒素原子と 1 個の酸素原子のみをもつ 5 員環を含有する複素環式化合物 [2]

271/02　・他の環と縮合していないもの [2]

271/04　・・1,2,3―オキサジアゾール ; 水素添加した 1,2,3―オキサジアゾール [2]

271/06　・・1,2,4―オキサジアゾール ; 水素添加した 1,2,4―オキサジアゾール [2]

271/07　・・・環の炭素原子に直接結合した酸素 , 硫黄またはニトロ基の一部でない窒素原子をもつもの [5]

271/08　・・1,2,5―オキサジアゾール ; 水素添加した 1,2,5―オキサジアゾール [2]

271/10　・・1,3,4―オキサジアゾール ; 水素添加した 1,3,4―オキサジアゾール [2]

271/107　・・・2,5 位に結合した 2 個のアリールまたは置換アリール基をもつもの [5]

271/113　・・・環の炭素原子に直接結合した酸素 , 硫黄またはニトロ基の一部でない窒素原子をもつもの [5]

271/12　・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]

273/00　異項原子として窒素原子と酸素原子のみをもつ環を含有し , **グループ** C07D261/00-C07D271/00 **までに属さない複素環式化合物** [2]

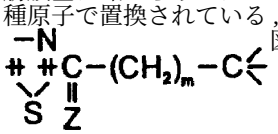
273/01　・1 個の窒素原子をもつもの [3]

273/02　・2 個の窒素原子および 1 個の酸素原子をもつもの [2]
273/04　・・6 員環 [2]
273/06　・・7 員環 [2]
273/08　・2 個の窒素原子および 2 個以上の酸素原子をもつもの [3]

異項原子として窒素原子と硫黄原子のみをもつ複素環式化合物 [2]

275/00　1,2―**チアゾールまたは水素添加した** 1,2―**チアゾール環を含有する複素環式化合物** [2]
275/02　・他の環と縮合していないもの [2]
275/03　・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基が環の炭素原子に直接結合したもの [5]
275/04　・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
275/06　・・環の硫黄原子に異種原子が直接結合したもの [2]

277/00　1,3―**チアゾールまたは水素添加した** 1,3―**チアゾール環を含有する複素環式化合物** [2]
277/02　・他の環と縮合していないもの [2]
277/04　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合をもたないもの [2]
277/06　・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
277/08　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合をもつもの [2]
277/10　・・・環の炭素原子に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]
277/12　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
277/14　・・・・酸素原子 [2]
277/16　・・・・硫黄原子 [2]
277/18　・・・・窒素原子 [2]
277/20　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個または 3 個の二重結合をもつもの [2]
277/22　・・・環の炭素原子に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]
277/24　・・・・酸素原子で置換された基 [2]
277/26　・・・・硫黄原子で置換された基 [2]
277/28　・・・・窒素原子で置換された基 [2]
277/30　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された基 [2]
277/32　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
277/34　・・・・酸素原子 [2]
277/36　・・・・硫黄原子 [2]
277/38　・・・・窒素原子 [2]
277/40　・・・・・非置換のアミノまたはイミノ基 [2]
277/42　・・・・・炭化水素または置換炭化水素基で置換されたアミノまたはイミノ基 [2]
277/44　・・・・・アシル化されたアミノまたはイミノ基 [2]
277/46　・・・・・・カルボン酸 , またはその硫黄または窒素類似体によるもの [2]
277/48　・・・・・・炭酸 , またはその硫黄または窒素類似体から誘導された基によるもの , 例 . カルボニルグアニジン [2]
277/50　・・・・・異種原子と結合した窒素原子 [2]
277/52　・・・・・・硫黄原子に結合したもの , 例 . スルホンアミド [2]
277/54　・・・・窒素原子 , および酸素または硫黄のいずれかの原子 [2]
277/56　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
277/58　・・・・ニトロ基 [2]
277/587　・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された脂肪族炭化水素基が環の炭素原子に直接結合したもの , そしてその脂肪族基は環からみてアルファ位が異種原子で置換されている , 例 .



図において m ≧ 0,Z は単結合または二重結合の異種原子を示す [5]
277/593　・・・・Z が二重結合の酸素または二重結合の窒素であり , その窒素は置換されてもよいオキシイミノ基の一部であるもの [5]
277/60　・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
277/62　・・ベンゾチアゾール [2]
277/64　・・・2 位に炭化水素基または置換炭化水素基のみが結合したもの [2]
277/66　・・・・2 位に芳香環または環系が直接結合したもの [2]
277/68　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 2 位に直接結合したもの [2]
277/70　・・・・硫黄原子 [2]
277/72　・・・・・2―メルカプトベンゾチアゾール [2]
277/74　・・・・・炭素原子で置換された硫黄原子 [2]
277/76　・・・・・第 2 番目の異種原子と結合した硫黄原子 [2]
277/78　・・・・・・第 2 番目の硫黄原子と結合したもの [2]
277/80　・・・・・・窒素原子と結合したもの [2]
277/82　・・・・窒素原子 [2]
277/84　・・ナフトチアゾール [2]

279/00　**異項原子として** 1 **個の窒素原子と** 1 **個の硫黄原子のみをもつ** 6 **員環を含有する複素環式化合物** [2]

環の炭素原子に水素原子のみが結合したチオモルホリンは , グループ 295/00 に分類する。[2]

279/02 ･1,2―チアジン ; 水素添加した 1,2―チアジン [2]
279/04 ･1,3―チアジン ; 水素添加した 1,3―チアジン [2]
279/06 ･･他の環と縮合していないもの [2]
279/08 ･･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
279/10 ･1,4―チアジン ; 水素添加した 1,4―チアジン [2]
279/12 ･･他の環と縮合していないもの [2]
279/14 ･･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
279/16 ･･･1 個の 6 員環と縮合したもの [2]
279/18 ･･･2 個の 6 員環と〔b,e〕―縮合したもの [2]
279/20 ････環の窒素原子に水素原子が直接結合したもの [2]
279/22 ････環の窒素原子に炭素原子が直接結合したもの [2]
279/24 ･････環の窒素原子に , アミノ基で置換された炭化水素基が結合したもの [2]
279/26 ･････････環系に他の置換基をもたないもの [2]
279/28 ･････････環系に他の置換基をもつもの [2]
279/30 ･････環の窒素原子にアシル基が結合したもの [2]
279/32 ････環の窒素原子に異種原子が直接結合したもの [2]
279/34 ････環の硫黄原子に異種原子が直接結合したもの [2]
279/36 ･･･〔b,e〕―結合したものであって少なくとも 1 方が縮合ベンゼン環系であるもの [2]

281/00 **異項原子として 1 個の窒素原子と 1 個の硫黄原子のみをもつ 7 員以上の環を含有する複素環式化合物** [2]
281/02 ･7 員環 [2]
281/04 ･･1,4 位に異項原子をもつもの [2]
281/06 ･･･他の環と縮合していないもの [2]
281/08 ･･･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
281/10 ････6 員環と縮合したもの [2]
C ベンゾ〔b〕チアゼピン ; その水素化物
E ･3 ―ヒドロキシ―ベンゾ〔b〕チアゼピン― 4 ―オン ; その誘導体 ; その水素化物 ; 例 , ジルチアゼム
Z その他
281/12 ････2 個の 6 員環と縮合したもの [2]
281/14 ･････〔b,e〕―縮合したもの [2]
281/16 ･････〔b,f〕―縮合したもの [2]
281/18 ･8 員環 [2]

283/00 **異項原子として 1 個の窒素原子と 1 個の硫黄原子のみをもつ環を含有し** ,C07D275/00-C07D281/00 **までの 2 以上のメイングループに一致する複素環式化合物** [2]
283/02 ･1,3 位に異項原子をもつもの [2]

285/00 **異項原子として窒素原子と硫黄原子のみをもつ環を含有し , グループ** C07D275/00-C07D283/00 **までに属さない複素環式化合物** [2]
285/01 ･5 員環 [5]
285/02 ･･チアジアゾール ; 水素添加したチアジアゾール [2,5]
285/04 ･･･他の環と縮合していないもの [2,5]
285/06 ････1,2,3―チアジアゾール ; 水素添加した 1,2,3―チアジアゾール [2,5]
285/08 ････1,2,4―チアジアゾール ; 水素添加した 1,2,4―チアジアゾール [2,5]
285/10 ････1,2,5―チアジアゾール ; 水素添加した 1,2,5―チアジアゾール [2,5]
285/12 ････1,3,4―チアジアゾール ; 水素添加した 1,3,4―チアジアゾール [2,5]
285/12 100 ･････水素原子 , 置換又は非置換の炭化水素基が , 環の炭素原子に直接結合したもの
285/12 200 ･････異種原子 , 又は異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が , 環の炭素原子に直接結合したもの（ニトロ基の一部でない窒素原子 C07D285/135, 酸素原子 C07D285/13, 硫黄原子 C07D285/125）
285/12 210 ･････････ニトロ基
285/125 ･････酸素原子 , 硫黄原子またはニトロ基の一部でない窒素原子が環の炭素原子に直接結合したもの [5]
285/13 ･････････酸素原子 [5]
285/135 ･････････窒素原子 [5]
285/14 ･･･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2,5]
285/15 ･6 員環 [5]
285/16 ･･チアジアジン ; 水素添加したチアジアジン [2,5]
285/18 ･･･1,2,4―チアジアジン ; 水素添加した 1,2,4―チアジアジン [2,5]
285/20 ････炭素環または炭素環系と縮合したもの [2,5]
285/22 ･････1 個の 6 員環と縮合したもの [2,5]
285/24 ･････････環の硫黄原子に酸素原子が直接結合したもの [2,5]
285/26 ･････････6 位または 7 位にスルファモイル基または置換スルファモイル基が置換したもの [2,5]
285/28 ･････････････3 位に , 水素原子または水素原子と炭素原子のみを含有する基のみが直接結合したもの [2,5]
285/30 ･････････････3 位に , 異種原子で置換された炭化水素基が結合したもの [2,5]
285/32 ･････････････異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 3 位に直接結合したもの [2,5]
285/34 ･･･1,3,5―チアジアジン ; 水素添加した 1,3,5―チアジアジン [2,5]
285/36 ･7 員環 [2]
285/38 ･8 員環 [2]

291/00 **異項原子として窒素 , 酸素および硫黄原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]
291/02 ･他の環と縮合していないもの [2]
291/04 ･･5 員環 [2]
291/06 ･･6 員環 [2]
291/08 ･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]

293/00 **異項原子として , 窒素とセレンまたは窒素とテルル原子をもつ環を含有する複素環式化合物で , 酸素または硫黄原子を含有または含有しない化合物** [2]
293/02 ･他の環と縮合していないもの [2]
293/04 ･･5 員環 [2]
293/06 ･･･セレナゾール ; 水素添加したセレナゾール [2]
293/08 ･･6 員環 [2]
293/10 ･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
293/12 ･･セレナゾール ; 水素添加したセレナゾール [2]
295/00 **環の炭素原子に水素原子のみが直接結合した , 少なくとも 5 員環のポリメチレン―イミン環 ,3―アザビシクロ〔3.2.2〕ノナン , ピペラジン , モルホリンまたはチオモルホリン環を含有する複素環式化合物** [2]
295/02 ･異項原子以外に水素および炭素原子のみを含有するもの [2]
295/023 ･･製造 ; 分離 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [5]
295/027 ･･1 個の複素環のみを含有するもの [5]
295/03 ･･･環の窒素原子に非環式炭素原子が直接結合したもの [5]
295/033 ･･･環の窒素原子に炭素環が直接結合したもの [5]
295/037 ･･環の窒素原子に四級化されたもの [5]
295/04 ･環の窒素原子に , 置換された炭化水素基が結合したもの [2]
295/06 ･･ハロゲン原子またはニトロ基で置換されたもの [2]
295/067 ･･･環の窒素原子および置換基が炭素環によって中断されていない同じ炭素鎖に結合したもの [5]
295/073 ･･･環の窒素原子および置換基が炭素環によりまたは炭素環で中断された炭素鎖により分離されたもの [5]
295/08 ･･単結合の酸素または硫黄原子で置換されたもの [2]
295/084 ･･･環の窒素原子および酸素または硫黄原子が炭素環によって中断されていない同じ炭素鎖に結合したもの [5]
295/088 ････非環式飽和鎖に結合したもの [5]
295/092 ････鎖に結合した芳香族基を有するもの [5]
295/096 ･･･環の窒素原子および酸素または硫黄原子が炭素環によりまたは炭素環で中断された炭素鎖により分離されたもの [5]
295/10 ･･二重結合の酸素または硫黄原子で置換されたもの [2]
295/104 ･･･環の窒素原子および二重結合の酸素または硫黄原子が炭素環によって中断されていない同じ炭素鎖に結合したもの [5]
295/108 ････非環式飽和鎖に結合したもの [5]
295/112 ･･･環の窒素原子および二重結合の酸素または硫黄原子が炭素環によりまたは炭素環で中断された炭素鎖により分離されたもの [5]
295/116 ････炭素環に直接結合した二重結合の酸素または硫黄原子を有するもの [5]
295/12 ･･単結合または二重結合の窒素原子で置換されたもの（ニトロ基 C07D295/06）[2]
295/125 ･･･環の窒素原子および置換窒素原子が炭素環によって中断されていない同じ炭素鎖に結合したもの [5]
295/13 ････非環式飽和鎖に結合したもの [5]
295/135 ･･･環の窒素原子および置換窒素原子が炭素環によりまたは炭素環で中断された炭素鎖により分離されたもの [5]
295/14 ･･異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換されたもの [2]
295/145 ･･･環の窒素原子および異種原子に対する 3 個の結合をもつ炭素原子が , 炭素環によって中断されていない同じ炭素鎖に結合したもの [5]
295/15 ････非環式飽和鎖に結合したもの [5]
295/155 ･･･環の窒素原子および異種原子に対する 3 個の結合をもつ炭素原子が , 炭素環によりまたは炭素環で中断された炭素鎖により分離されたもの [5]
295/16 ･環の窒素原子がアシル化されたもの [2]
295/18 ･･カルボン酸またはその硫黄もしくは窒素類似体から誘導された基によるアシル化物 [2]
295/182 ･･･カルボン酸から誘導された基 [5]
295/185 ････脂肪族カルボン酸から誘導された基 [5]
295/192 ････芳香族カルボン酸から誘導された基 [5]
295/194 ･･･チオカルボン酸またはチオノカルボン酸から誘導された基 [5]
295/195 ･･･カルボン酸の窒素類似体から誘導された基 [5]
295/20 ･･炭酸またはその硫黄または窒素類似体から誘導された基によるもの [2]
295/205 ･･･炭酸から誘導された基 [5]
295/21 ･･･炭酸の硫黄類似体から誘導された基 [5]
295/215 ･･･炭酸の窒素類似体から誘導された基 [5]
295/22 ･環の窒素原子に異種原子が直接結合したもの [2]
295/24 ･･酸素原子 [5]
295/26 ･･硫黄原子 [5]
295/28 ･･窒素原子 [5]
295/30 ･･･アシル化されないもの [5]
295/32 ･･･カルボン酸または炭酸 , あるいはそれらの窒素または硫黄類似体でアシル化されたもの [5]

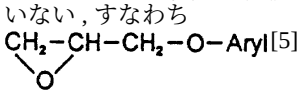
異項原子として , 酸素原子を含有し , 硫黄 , セレンまたはテルル原子を含有または含有しない複素環式化合物 [2]

301/00 **オキシランの製造** [2]
301/02 ･オキシラン環の合成 [2]
301/03 ･･不飽和化合物の , または不飽和および飽和化合物混合物の酸化によるもの [3]
301/04 ･･･空気または分子状酸素を用いるもの [2,3]
301/06 ････液相で行なうもの [2,3]
301/08 ････気相で行なうもの [2,3]

301/10 ・・・・・銀または金を含有する触媒を用いるもの [2,3]
301/12 ・・・過酸化水素 , または無機過酸化物または無機過酸を用いるもの [2,3]
301/14 ・・・有機過酸 , またはその塩 , その無水物またはそのエステルを用いるもの [2,3]
301/16 ・・・・その場で形成した有機過酸またはその塩 , その無水物またはそのエステルによる酸化 , 例 . カルボン酸および過酸化水素とから形成したものによる。[2,3]
301/18 ・・・・・多塩基カルボン酸からのもの [2,3]
301/19 ・・・有機ハイドロパーオキサイドを用いるもの [3]
301/22 ・・空気または分子状酸素を用いた飽和化合物の酸化によるもの（不飽和化合物と飽和化合物の混合物の酸化 C07 D301/04）[2]
301/24 ・・Hal―C―C―OY 基を含有する化合物から Hal―Y を除去することによるもの [2]
301/26 ・・・Y が水素であるもの [2]
301/27 ・活性水素をもつ化合物とエピハロヒドリンまたはハロヒドリンとの縮合（高分子化合物 C08）[3]
301/28 ・・水酸基との反応によるもの [2,3]
301/30 ・・カルボキシル基との反応によるもの [2,3]
301/32 ・分離 ; 精製 [2]
301/36 ・添加剤の使用 , 例 . 安定化のためのもの [3]

303/00 異項原子として 1 個の酸素原子のみをもつ 3 員環を含有する化合物 [2]

303/02 ・オキシラン環を含有する化合物 [2]
303/04 ・・環の酸素原子以外に水素および炭素原子のみを含有するもの [2]
303/06 ・・・オキシラン環が 3 またはそれ以上の関連する環をもつ炭素環系と縮合しているもの [2]
303/08 ・・ハロゲン原子 , ニトロ基またはニトロソ基で置換された炭化水素基をもつもの [2]
303/10 ・・・オキシラン環が 3 またはそれ以上の関連する環をもつ炭素環系と縮合しているもの [2]
303/12 ・・単結合または二重結合で酸素原子が置換した炭化水素基をもつもの [2]
303/14 ・・・遊離の水酸基によるもの [2]
303/16 ・・・エステル化された水酸基によるもの [2]
303/17 ・・・・3 個またはそれ以上の関連する環を有する炭素環系と縮合したオキシラン環をもつもの [3]
303/18 ・・・エーテル化された水酸基によるもの [2]
303/20 ・・・・オキシラン環を含有しないヒドロキシ化合物とのエーテル [2]
303/22 ・・・・・モノヒドロキシ化合物とのエーテル [2]
303/23 ・・・・・・6 員芳香環に結合する 1 個のヒドロキシ基をもつオキシラニルメチルエーテル化合物 , そのオキシラニルメチル基は更には置換されていない , すなわち



[5]

303/24 ・・・・・ポリヒドロキシ化合物とのエーテル [2]
303/26 ・・・・・・1 またはそれ以上の遊離水酸基をもつもの [2]
303/27 ・・・・・・すべての水酸基がオキシランをもつ化合物でエーテル化されたもの [3]
303/28 ・・・・オキシラン環を含有するヒドロキシ化合物とのエーテル [2]
303/30 ・・・・・全ての水酸基がオキシラン―含有ヒドロキシ化合物とエーテル化しているオキシラン―含有ポリヒドロキシ化合物とのエーテル [2]
303/31 ・・・・オキシラン環が 3 個またはそれ以上の関連する環をもつ炭素環系と縮合しているもの [3]
303/32 ・・・アルデヒドまたはケトン基によるもの [2]
303/34 ・・硫黄 , セレンまたはテルル原子が置換した炭化水素基をもつもの [2]
303/36 ・・窒素原子が置換した炭化水素基をもつもの（ニトロ , ニトロソ基 C07D303 /08）[2]
303/38 ・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された炭化水素基をもつもの [2]
303/40 ・・・エステル基によるもの [2]
303/42 ・・・・7 個またはそれ以上の炭素鎖をもつ非環式化合物 , 例 . エポキシ化油脂 [2]
303/44 ・・・・オキシラン含有ヒドロキシ化合物でエステル化されたもの [2]
303/46 ・・・アミドまたはニトリル基 [2]
303/48 ・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子が環の炭素原子に直接結合したもの , 例 . エステル , ニトリル基 [3]

305/00 異項原子として 1 個の酸素原子のみをもつ 4 員環を含有する複素環式化合物 [2]

305/02 ・他の環と縮合していないもの [2]
305/04 ・・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合をもたないもの [2]
305/06 ・・・環の原子に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]
305/08 ・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
305/10 ・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個またはそれ以上の二重結合をもつもの [2]
305/12 ・・・β―ラクトン [2]
305/14 ・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]

307/00 異項原子として 1 個の酸素原子のみをもつ 5 員環を含有する複素環式化合物 [2]

307/02 ・他の環と縮合していないもの [2]
307/04 ・・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合をもたないもの [2]
307/06 ・・・環の炭素原子に , 水素原子または水素と炭素原子のみを含有する基のみが直接結合したもの [2]

307/08　・・・・テトラヒドロフランの製造 [2]
307/10　・・・環の炭素原子に結合し , 置換された炭化水素基を有するもの [2]
307/12　・・・・酸素原子で置換された基 [2]
307/14　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子で置換された基 [2]
307/16　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された基 [2]
307/18　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
307/20　・・・・酸素原子 [2]
307/22　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
307/24　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
307/26　・・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合をもつもの [2]
307/28　・・・環の炭素原子に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]
307/30　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
307/32　・・・・酸素原子 [2]
307/32　500　・・・・・3 位に二重結合の酸素原子が結合したもの
307/33　・・・・・2 位 , に酸素原子がそのケト型または置換されていないエノール型で結合したもの [5]
307/33　100　・・・・・・環の他の炭素原子に水素原子または炭化水素基のみが結合したもの
307/33　150　・・・・・・・γ－ブチロラクトンの製造
307/33　200　・・・・・・環の他の炭素原子に異種原子で置換された炭化水素基が結合したもの
307/33　210　・・・・・・・ハロゲン原子で置換された基
307/33　300　・・・・・・環の他の炭素原子に異種原子またはカルボキシル基若くはその反応性誘導体基が直接結合したもの
307/33　310　・・・・・・・ハロゲン原子
307/33　320　・・・・・・・窒素原子
307/33　330　・・・・・・・酸素原子
307/33　335　・・・・・・・・糖酸のラクトン
307/33　340　・・・・・・・カルボキシル基 ; その誘導体
307/34　・・環原子相互間または環原子間と非環原子間に 2 個または 3 個の二重結合をもつもの [2]
307/36　・・・環の炭素原子に水素原子または水素と炭素原子のみを含有する基のみが直接結合したもの [2]
307/38　・・・環の炭素原子に結合し , 置換された炭化水素基を有するもの [2]
307/40　・・・・酸素原子で置換された基 [2]
307/42　・・・・・単結合の酸素原子 [2]
307/44　・・・・・・フルフリルアルコール [2]
307/45　・・・・・・シクロプロパンを含有するカルボン酸アシル基でアシル化された酸素原子 , 例 . 菊酸エステル [3]
307/46　・・・・・二重結合の酸素原子 , または同一炭素原子へ単結合した 2 個の酸素原子 [2]
307/48　・・・・・・フルフラール [2]
307/50　・・・・・・・天然物からの製造 [2]
307/52　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子で置換された基 [2]
307/54　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された基 [2]
307/56　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
307/58　・・・・1 個の酸素原子 , 例 . ブテノリド [2]
307/60　・・・・2 個の酸素原子 , 例 . コハク酸無水物 [2]
A　無水マレイン酸の製造法
B　・炭化水素の酸化によるもの
E　・マレイン酸の脱水によるもの
F　・分離 ; 精製
Z　その他のもの
307/62　・・・・3 個の酸素原子 , 例 . アスコルビン酸 [2]
307/64　・・・・硫黄原子 [2]
307/66　・・・・窒素原子 [2]
307/68　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンである炭素原子 [2]
307/70　・・・・ニトロ基 [2]
307/71　・・・・・5 位に結合したもの [2]
307/72　・・・・・・2 位に , 窒素含有基で置換された炭化水素基が結合したもの [2]
307/73　・・・・・・・アミノまたはイミノまたは置換アミノまたは置換イミノ基によるもの [2]
307/74　・・・・・・・ヒドラジノまたはヒドラゾノあるいはその置換体によるもの [2]
307/75　・・・・・・・・ヒドラジノまたはヒドラゾノ基に直接結合するカルボン酸アシル基またはその硫黄もしくは窒素類似体をもつもの , 例 . ヒドラジド [2]
307/76　・・・・・・・・ヒドラジノまたはヒドラゾノ基に直接結合する炭酸アシル基またはその硫黄もしくは窒素類似体をもつもの , 例 . セミカルバジド [2,3]
307/77　・炭素環または炭素環系とオルト－またはペリ－縮合したもの [2]
307/78　・・ベンゾ〔b〕フラン ; 水素添加したベンゾ〔b〕フラン [2]
307/79　・・・複素環の炭素原子に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]
307/80　・・・・酸素原子で置換された基 [2]
307/81　・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子で置換された基 [2]

307/82　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が複素環の炭素原子に直接結合したもの [2]
307/83　・・・・酸素原子 [2]
307/84　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
307/85　・・・・・2 位に結合したもの [2]
307/86　・・・7 位に結合した酸素原子をもつもの [2]
307/87　・・ベンゾ〔c〕フラン ; 水素添加したベンゾ〔c〕フラン [2]
307/88　・・・1 位または 3 位に直接結合した 1 個の酸素原子をもつもの [2]
307/885　・・・・3,3―ジフェニルフタリド [5]
307/89　・・・1 位および 3 位に直接結合した 2 個の酸素原子をもつもの [2]
A　無水フタール酸の製造法
B　炭化水素の液相酸化によるもの
C　炭化水素の気相酸化によるもの
D　分離 ; 精製
Z　その他のもの
307/90　・・・1 位に酸素原子および 3 位に窒素原子をもつもの , またはその逆のもの [2]
307/91　・・ジベンゾフラン ; 水素添加したジベンゾフラン [2]
307/92　・・ナフトフラン ; 水素添加したナフトフラン [2]
307/93　・・6 員環以外の環と縮合したもの [2]
307/935　・・・他の環と縮合していないシクロペンタ〔b〕フランまたは水素添加したシクロペンタ〔b〕フラン [3]
307/937　・・・・2 位に直接結合した炭化水素基または置換炭素水素基をもつもの , 例 . プロスタサイクリン [5]
307/94　・炭素環または炭素環系とスピロ―縮合したもの , 例 . グリセオフルビン [2]
309/00　**異項原子としと 1 個の酸素原子のみをもつ 6 員環を含有し , 他の環と縮合していない複素環式化合物** [2]
309/02　・環原子相互間または環原子と非環原子間に二重結合をもたないもの [2]
309/04　・・環の炭素原子に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]
309/06　・・・酸素原子で置換された基 [2]
309/08　・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
309/10　・・・酸素原子 [2]
309/12　・・・・環の炭素原子に水素原子および 1 個の酸素原子のみが直接結合したもの , 例 . テトラヒドロピラニルエーテル [2]
309/14　・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
309/16　・環原子相互間または環原子と非環原子間に 1 個の二重結合をもつもの [2]
309/18　・・環の異種原子以外に水素原子および炭素原子のみを含有するもの [2]
309/20　・・環の炭素原子に水素原子および置換炭化水素基が直接結合したもの [2]
309/22　・・・酸素原子で置換された基 [2]
309/24　・・・・メチロール基 [2]
309/26　・・・・カルボキシアルデヒド基 [2]
309/28　・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
309/30　・・・酸素原子 , 例 . δ―ラクトン [2]
C　二重結合の酸素原子
D　・2 位に結合したもの〔ラクトン〕
R　・・4 位に直接結合する酸素原子を持ち , かつ , 芳香脂肪族基が 6 位に結合したもの
Z　その他のもの
309/32　・環原子相互間または環原子と非環原子間に 2 個の二重結合をもつもの [2]
309/34　・環原子相互間または環原子と非環原子間に 3 個またはそれ以上の二重結合をもつもの [2]
309/36　・・環の炭素原子に酸素原子が直接結合したもの [2]
309/38　・・・2 位または 4 位における 1 個の酸素原子 , 例 . ピロン [2]
309/40　・・・3 位および 4 位の結合した酸素原子 , 例 . マルトール [2]
311/00　**異項原子として 1 個の酸素原子のみをもつ 6 員環を含有し , 他の環と縮合した複素環式化合物** [2]
311/02　・炭素環または炭素環系とオルト―またはペリ―縮合したもの [2]
311/04　・・炭素環が水素添加されていないベンゾ〔b〕ピラン [2]
311/06　・・・2 位に酸素または硫黄原子が直接結合したもの [2]
311/08　・・・・複素環が水素添加されていないもの [2]
311/10　・・・・・非置換のもの [2]
311/12　・・・・・3 位が置換され ,7 位が非置換のもの [2]
311/14　・・・・・6 位が置換され ,7 位が非置換のもの [2]
311/16　・・・・・7 位が置換されたもの [2]
311/16 101　・・・・・・酸素原子が 7 位に直接結合したもの
311/18　・・・・・3 位または 7 位以外が置換されたもの [2]
311/20　・・・・複素環が水素添加されたもの [2]
311/22　・・・4 位に酸素または硫黄原子が直接結合したもの [2]
311/24　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 2 位の位置に直接結合したもの [2]
311/26　・・・・2 位または 3 位に芳香環が結合したもの [2]
311/28　・・・・・2 位のみに芳香環が結合したもの [2]
311/30　・・・・・・複素環が水素添加されていないもの , 例 . フラボン [2]
311/32　・・・・・・2,3―ジヒドロ誘導体 , 例 . フラバノン [2]
311/34　・・・・・3 位のみに芳香環が結合したもの [2]

311/36　・・・・・・複素環が水素添加されていないもの , 例 . イソフラボン [2]
311/38　・・・・・・2,3―ジヒドロ誘導体 , 例 . イソフラバノン [2]
311/40　・・・・・分離 , 例 . 天然物からの ; 精製 [2]
311/42　・・・2 位および 4 位に酸素または硫黄原子をもつもの [2]
311/44　・・・・3 位に少なくとも 1 個の水素原子をもつもの [2]
311/46　・・・・・炭素環が非置換のもの [2]
311/48　・・・・・・炭素鎖により結合された 2 個のベンゾピラン基をもつもの [2]
311/50　・・・・・・3 位に炭素および水素以外の成分をもつもの [2]
311/52　・・・・・・エノール―エステルまたは―エーテル , またはそれらの硫黄類似体 [2]
311/54　・・・・・炭素環が置換されているもの [2]
311/56　・・・・3 位に水素原子をもたないもの [2]
311/58　・・・2 位または 4 位に酸素または硫黄以外の原子をもつもの [2]
311/60　・・・・2 位にアリール基が結合したもの [2]
311/62　・・・・・3 位に酸素原子が直接結合したもの , 例 . アントシアニジン [2]
311/64　・・・・8 位に酸素原子が直接結合したもの [2]
311/66　・・・・異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 2 位に直接結合したもの [2]
311/68　・・・・4 位に窒素原子が直接結合したもの [2]
311/70　・・・・2 位に 2 個の炭化水素基が結合し ,6 位に炭素および水素以外の成分をもつもの [2]
311/72　・・・・・2 位に少なくとも 1 個のメチル基をもち ,6 位に酸素原子をもつ 3,4 ―ジヒドロ誘導体 , 例 . トコフェロール [2]
311/72　101　・・・・・・6 位の酸素原子が遊離水酸基であるもの
311/72　102　・・・・・・6 位の酸素原子が置換水酸基であるもの
311/72　103　・・・・・・分離 , 精製
311/74　・・炭素環が水素添加されているベンゾ〔b〕ピラン [2]
311/76　・・ベンゾ〔c〕ピラン [2]
311/78　・・3 個またはそれ以上の関連する環をもつ環系 [2]
311/80　・・・ジベンゾピラン ; 水素添加したジベンゾピラン [2]
311/82　・・・・キサンテン [2]
311/84　・・・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 9 位に直接結合したもの [2]
311/86　・・・・・・酸素原子 , 例 . キサントン [2]
311/88　・・・・・・窒素原子 [2]
311/90　・・・・・9 位に , アミノ基で置換された炭化水素基が直接結合したもの [2]
311/92　・・・ナフトピラン ; 水素添加したナフトピラン [2]
311/92　101　・・・・オルト縮合
311/92　102　・・・・ペリ縮合
311/94　・・6 員環以外の環またはこのような環を含有する環系と縮合したもの [2,5]
311/94　101　・・・5 員環と縮合
311/96　・炭素環または炭素環系とスピロ―縮合したもの [2]
313/00　異項原子として 1 個の酸素原子のみをもつ 7 員以上の環を含有する複素環式化合物 [2]
313/02　・7 員環 [2]
313/04　・・他の環と縮合していないもの [2]
313/06　・・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
313/08　・・・1 個の 6 員環と縮合したもの [2]
313/10　・・・2 個の 6 員環と縮合したもの [2]
313/12　・・・・〔b,e〕―縮合したもの [2]
313/14　・・・・〔b,f〕―縮合したもの [2]
313/16　・8 員環 [2]
313/18　・・他の環と縮合していないもの [2]
313/20　・・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
315/00　異項原子として 1 個の酸素原子のみをもつ環を含有し ,C07D303/00-C07D313/00 **までの 2 以上のメイングループに一致する複素環式化合物** [2]
317/00　異項原子として 2 個の酸素原子のみをもつ 5 員環を含有する複素環式化合物 [2]
317/02　・その異項原子を 1,2 位にもつもの [2]
317/04　・・他の環と縮合していないもの [2]
317/06　・・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
317/08　・その異項原子を 1,3 位にもつもの [2]
317/10　・・他の環と縮合していないもの [2]
317/12　・・・環の炭素原子に , 水素原子または水素と炭素原子のみを含有する基のみが直接結合したもの [2]
317/14　・・・環の炭素原子に異種原子で置換された炭化水素基が結合したもの [2]
317/16　・・・・ハロゲン原子またはニトロ基で置換された基 [2]
317/18　・・・・単結合の酸素または硫黄原子で置換された基 [2]
317/20　・・・・・遊離のヒドロキシまたはメルカプタン [2]
317/22　・・・・・エーテル化されたもの [2]
317/24　・・・・・エステル化されたもの [2]
317/26　・・・・二重結合の酸素もしくは硫黄原子または同一の炭素原子に単結合した 2 個のそれらの原子で置換された基 [2]
317/28　・・・・窒素原子で置換された基（ニトロ基 C07D317/16）[2]
317/30　・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された基 [2]
317/32　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合したもの [2]
317/34　・・・・酸素原子 [2]
317/36　・・・・・アルキレンカーボネート ; 置換アルキレンカーボネート [2]

317/38 ・・・・・・エチレンカーボネート [2]
317/40 ・・・・・ビニレンカーボネート ; 置換ビニレンカーボネート [2]
317/42 ・・・・ハロゲン原子またはニトロ基 [2]
317/44 ・・炭素環または炭素環系とオルト－またはペリ－縮合したもの [2]
317/46 ・・・1 個の 6 員環と縮合したもの [2]
317/48 ・・・・複素環上が非置換のメチレンジオキシベンゼンまたは水素添加したメチレンジオキシベンゼン [2]
317/50 ・・・・・炭素環の原子に , 水素原子 , 炭化水素基または置換炭化水素基のみが直接結合したもの [2]
317/52 ・・・・・・ハロゲン原子またはニトロ基で置換された基 [2]
317/54 ・・・・・・酸素原子で置換された基 [2]
317/56 ・・・・・・硫黄原子で置換された基 [2]
317/58 ・・・・・・窒素原子で置換された基（ニトロ基 C07D317/52）[2]
317/60 ・・・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された基 [2]
317/62 ・・・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が炭素環の原子に直接結合したもの [2]
317/64 ・・・・・・酸素原子 [2]
317/66 ・・・・・・ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
317/68 ・・・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
317/70 ・・・2 個またはそれ以上の関連する環を含有する環系と縮合したもの [2]
317/72 ・・炭素環とスピロ－縮合したもの [2]
319/00 **異項原子として 2 個の酸素原子のみをもつ 6 員環を含有する複素環式化合物** [2]
319/02 ・1,2 －ジオキサン ; 水素添加した 1,2 －ジオキサン [2]
319/04 ・1,3 －ジオキサン ; 水素添加した 1,3 －ジオキサン [2]
319/06 ・・他の環と縮合していないもの [2]
319/08 ・・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
319/10 ・1,4 －ジオキサン ; 水素添加した 1,4 －ジオキサン [2]
319/12 ・・他の環と縮合していないもの [2]
319/14 ・・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
319/16 ・・・1 個の 6 員環と縮合したもの [2]
319/18 ・・・・複素環上が非置換のエチレンジオキシベンゼン [2]
319/20 ・・・・複素環に結合した置換基をもつもの [2]
319/22 ・・・1 個のナフタレンまたは水素添加したナフタレン環と縮合したもの [2]
319/24 ・・・2 個の 6 員環と〔b,e〕－縮合したもの [2]
321/00 **異項原子として 2 個の酸素原子のみをもつ環を含有し , グループ** C07D317/00 -C07D319/00 **までに属さない複素環式化合物** [2]
321/02 ・7 員環 [2]
321/04 ・・他の環と縮合していないもの [2]
321/06 ・・・1,3 －ジオキセピン ; 水素添加した 1,3 －ジオキセピン [2]
321/08 ・・・1,4 －ジオキセピン ; 水素添加した 1,4 －ジオキセピン [2]
321/10 ・・炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
321/12 ・8 員環 [2]
323/00 **異項原子として 3 個以上の酸素原子のみをもつ複素環式化合物** [2]
323/02 ・5 員環 [2]
323/04 ・6 員環 [2]
323/06 ・・トリオキサン [2]
325/00 **異項原子として酸素のみをもつ環を含有し** ,C07D303/00-C07D323/00 **までの 2 以上のメイングループに一致する複素環式化合物** [2]
327/00 **異項原子として酸素および硫黄原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]
327/02 ・1 個の酸素原子および 1 個の硫黄原子 [2]
327/04 ・・5 員環 [2]
327/06 ・・6 員環 [2]
327/08 ・・・2 個の炭素 6 員環と〔b,e〕－縮合したもの [2]
327/10 ・2 個の酸素原子および 1 個の硫黄原子 , 例 . 環状サルフェート [2]
329/00 **異項原子として酸素とセレンまたは酸素とテルル原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]
異項原子として硫黄 , セレンまたはテルル原子のみをもつ複素環式化合物 [2]
331/00 **異項原子として 1 個の硫黄原子のみをもつ 4 員以下の環を含有する複素環式化合物** [2]
331/02 ・3 員環 [2]
331/04 ・4 員環 [2]
333/00 **異項原子として 1 個の硫黄原子のみをもつ 5 員環を含有する複素環式化合物** [2]
333/02 ・他の環と縮合していないもの [2]
333/04 ・・環の硫黄原子が置換されていないもの [2]
333/06 ・・・環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
333/08 ・・・・水素原子または水素および炭素原子のみを含有する基 [2]
333/10 ・・・・・チオフェン [2]
333/12 ・・・・ハロゲン原子 , ニトロ基またはニトロソ基で置換された基 [2]
333/14 ・・・・ハロゲン以外の単結合の異種原子で置換された基 [2]
333/16 ・・・・・酸素原子によるもの [2]
333/18 ・・・・・硫黄原子によるもの [2]
333/20 ・・・・・窒素原子によるもの（ニトロ , ニトロソ基 C07D333/12）[2]
333/22 ・・・・二重結合の異種原子で , または同一炭素原子に単結合するハロゲン以外の 2 個の異種原子で置換された基 [2]
333/24 ・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された基 [2]

333/26 ･･･異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が環の炭素原子に直接結合するもの [2]
333/28 ････ハロゲン原子 [2]
333/30 ････ハロゲン以外の異種原子 [2]
333/32 ･････酸素原子 [2]
333/34 ･････硫黄原子 [2]
333/36 ･････窒素原子 [2]
333/38 ････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 [2]
333/40 ･････チオフェン―2―カルボン酸 [2]
333/42 ････環の炭素原子に直接結合するニトロまたはニトロソ基を含有するもの [2]
333/44 ･････5 位に結合するもの [2]
333/46 ･･環の硫黄原子が置換されたもの [2]
333/48 ･･･酸素原子によるもの [2]
333/50 ･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
333/52 ･･ベンゾ〔b〕チオフェン ; 水素添加したベンゾ〔b〕チオフェン [2]
333/54 ･･･複素環の炭素原子に直接結合する水素原子 , 炭化水素または置換炭化水素基のみを有するもの [2]
333/56 ････酸素原子で置換された基 [2]
333/58 ････窒素原子で置換された基 [2]
333/60 ････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された基 [2]
333/62 ･･･異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が複素環の炭素原子に直接結合するもの [2]
333/64 ････酸素原子 [2]
333/66 ････ニトロ基の一部でない窒素原子 [2]
333/68 ････異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 [2]
333/70 ･････2 位に結合するもの [2]
333/72 ･･ベンゾ〔c〕チオフェン ; 水素添加したベンゾ〔c〕チオフェン [2]
333/74 ･･ナフトチオフェン [2]
333/76 ･･ジベンゾチオフェン [2]
333/78 ･･6 員環以外の環またはこのような環を含有する環系と縮合したもの [2,5]
333/80 ･･･7 員環 [2]
335/00 **異項原子として 1 個の硫黄原子のみをもつ 6 員環を含有する複素環式化合物** [2]
335/02 ･他の環と縮合していないもの [2]
335/04 ･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
335/06 ･･ベンゾチオピラン ; 水素添加したベンゾチオピラン [2]
335/08 ･･ナフトチオピラン ; 水素添加したナフトチオピラン [2]
335/10 ･･ジベンゾチオピラン ; 水素添加したジベンゾチオピラン [2]
335/12 ･･･チオキサンテン [2]
335/14 ････異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 9 位に直接結合したもの [2]
335/16 ･････酸素原子 , 例 . チオキサントン [2]
335/18 ･････窒素原子 [2]
335/20 ････アミノ基で置換され ,9 位に直接結合する炭化水素基を有するもの [2]
337/00 **異項原子として 1 個の硫黄原子のみをもつ 7 員以上の環を含有する複素環式化合物** [2]
337/02 ･7 員環 [2]
337/04 ･･他の環と縮合していないもの [2]
337/06 ･･炭素環または炭素環系と縮合したもの [2]
337/08 ･･･1 個の 6 員環と縮合するもの [2]
337/10 ･･･2 個の 6 員環と縮合するもの [2]
337/12 ････〔b,e〕―縮合するもの [2]
337/14 ････〔b,f〕―縮合するもの [2]
337/16 ･8 員環 [2]
339/00 **異項原子として 2 個の硫黄原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]
339/02 ･5 員環 [2]
339/04 ･･1,2 位に異種原子をもつもの , 例 . リポ酸 [2]
339/06 ･･1,3 位に異種原子をもつもの , 例 . 環式ジチオカーボネート [2]
339/08 ･6 員環 [2]
341/00 **異項原子として 3 個以上の硫黄原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]
343/00 **異項原子として硫黄とセレンまたは硫黄とテルル原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]
345/00 **異項原子としてセレンまたはテルル原子のみをもつ環を含有する複素環式化合物** [2]
347/00 **異項原子としてハロゲン原子をもつ環を含有する複素環式化合物** [2]

2 個以上の複素環を含有する複素環式化合物 [2]

グループ 401/00 から 421/00 には ,2 個以上の関連する複素環を含有し , そのうち少なくても 2 個が 203/00 から 347/00 までの異なったメイングループに属し , 相互にも , また共通の炭素環または炭素環系とも縮合していない化合物を分類する。[2]

401/00 **異項原子として窒素原子のみをもつ 2 個以上の複素環を含有し , そのうち少なくても 1 個が 1 個の窒素原子のみをもつ 6 員環である複素環式化合物** [2]
401/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
401/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
401/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
401/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
401/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
401/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
401/14 ･3 個以上の複素環を含有するもの [2]

403/00 **異項原子として窒素原子のみをもつ 2 個以上の複素環を含有し ,C07D401/00 に属さない複素環式化合物** [2]
403/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
403/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
403/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
403/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
403/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
403/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
403/14 ･3 個以上の複素環を含有するもの [2]
405/00 **異項原子として酸素原子のみをもつ 1 個以上の複素環と , 異項原子として窒素のみをもつ 1 個以上の環を含有する複素環式化合物** [2]
405/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
405/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
405/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
405/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
405/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
405/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
405/14 ･3 個以上の複素環を含有するもの [2]
407/00 **2 個以上の複素環を含有し , そのうち少なくても 1 個が異項原子として酸素原子のみをもち ,C07D405/00 に属さない複素環式化合物** [2]
407/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
407/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
407/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
407/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
407/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
407/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
407/14 ･3 個以上の異種環を含有するもの [2]
409/00 **2 個以上の複素環を含有し , そのうち少なくても 1 個が異項原子として硫黄のみをもつ複素環式化合物** [2]
409/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
409/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
409/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
409/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
409/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
409/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
409/14 ･3 個以上の異項環を含有するもの [2]
411/00 **2 個以上の複素環を含有し , そのうち少なくても 1 個が異項原子として酸素と硫黄原子のみをもつ複素環式化合物** [2]
411/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
411/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
411/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
411/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
411/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
411/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
411/14 ･3 個以上の複素環を含有するもの [2]
413/00 **2 個以上の複素環を含有し , そのうち少なくても 1 個が異項原子として窒素と酸素原子のみをもつ複素環式化合物** [2]
413/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
413/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
413/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
413/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
413/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
413/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
413/14 ･3 個以上の複素環を含有するもの [2]
415/00 **チアミン骨格を含有する複素環式化合物** [2]
417/00 **2 個以上の複素環を含有し , そのうち少なくても 1 個が異項原子として窒素と硫黄のみをもち ,C07D415/00 に属さない複素環式化合物** [2]
417/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
417/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
417/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
417/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
417/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
417/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
417/14 ･3 個以上の複素環を含有するもの [2]
419/00 **2 個以上の複素環を含有し , そのうち少なくても 1 個が異項原子として窒素 , 酸素および硫黄原子をもつ複素環式化合物** [2]
419/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
419/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
419/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
419/08 ･･脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
419/10 ･･芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]
419/12 ･･鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]
419/14 ･3 個以上の複素環を含有するもの [2]
421/00 **2 個以上の複素環を含有し , そのうち少なくても 1 個が異項原子としてセレン , テルルまたはハロゲン原子をもつ複素環式化合物** [2]
421/02 ･2 個の複素環を含有するもの [2]
421/04 ･･環原子―環原子結合により直接結合しているもの [2]
421/06 ･･脂肪族炭素原子のみを含有する炭素鎖により結合しているもの [2]

421/08　・・脂環式環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]

421/10　・・芳香族環を含有する炭素鎖により結合しているもの [2]

421/12　・・鎖結合として異種原子を含有する鎖により結合しているもの [2]

421/14　・3 個以上の複素環を含有するもの [2]

縮合複素環系を含有する複素環式化合物 [2]

（1）グループ 451/00 から 517/00 には , 相互に , または共通の炭素環系と縮合している 2 個以上の関連する複素環から成る 1 個の系を含有し , 他の非縮合複素環を有し , または有しない化合物を包含する。[2]

（2）グループ 451/00 から 519/00 に分類するに際して , 環系の水素添加の程度は無視する。[2]

（3）グループ 451/00 から 463/00,473/00 から 477/00,489/00,499/00 から 507/00 に分類するに際して , グループの用語には , 相反する指示がない限り , さらに , 炭素環または炭素環系と縮合している環系を含むものとする。ただし , 他の複素環と直接に , または , 相互に共有している炭素環系を介して縮合している環系は除かれる。例 . スパルティン は ,455/02 ではなく ,471/22 に分類する。[3,5]

（4）グループ 471/00,487/00,491/00 から 498/00 または 513/00 から 517/00 は , 関連する複素環の数にもとづいて細分化されている。[3]

451/00　**8―アザビシクロ〔3.2.1〕オクタン環系 ,9―アザビシクロ〔3.3.1〕ノナン環系または 3―オキサ―9―アザトリシクロ〔3.3.1.0^{2,4}〕ノナン環系を含有する複素環式化合物 , 例 . トロパンまたはグラナタンアルカロイド , スコポラミン ; その環状アセタール** [2]

451/02　・他の環と縮合していない 8―アザビシクロ〔3.2.1〕オクタン環系または 3―オキサ―9―アザトリシクロ〔3.3.1.0^{2,4}〕ノナン環系を含有するもの , 例 . トロパン ; その環状アセタール [2]

451/04　・・8―アザビシクロ〔3.2.1〕オクタン環系の 3 位 , または 3―オキサ―9―アザトリシクロ〔3.3.1.0^{2,4}〕ノナン環系の 7 位に直接結合する異種原子を有するもの [2]

451/06　・・・酸素原子 [2]

451/08　・・・・ジアリールメトキシ基 [2]

451/10　・・・・脂肪族カルボン酸または芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化されたもの , 例 . アトロピン , スコポラミン [2]

451/12　・・・・芳香族カルボン酸または複素環式芳香族カルボン酸によりアシル化されたもの , 例 . コカイン [2]

451/14　・9―アザビシクロ〔3.3.1〕ノナン環系を含有するもの , 例 . グラナタン ,2―アザ―アダマンタン ; その環状アセタール [2]

453/00　**キヌクリジンまたはイソキヌクリジン環系を含有する複素環式化合物 , 例 . キニンアルカロイド** [2]

453/02　・他の環と縮合していないキヌクリジン環系を含有するもの [2]

453/04　・・1 個の炭素原子を介して 2 位に結合したキノリル―4 基 , 置換されたキノリル―4 基またはアルキレンジオキシキノリル―4 基をもつもの , 例 . キニーネ [2]

453/06　・イソキヌクリジン環系を含有するもの [2]

455/00　**キノリジン環系を含有する複素環式化合物 , 例 . エメチンアルカルロイド , プロトベルベリン , ジベンゾ〔a,g〕キノリジンのアルキレンジオキシ誘導体 , 例 . ベルベリン** [2]

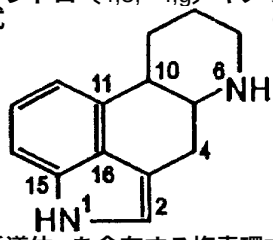
455/02　・他の環と縮合していないキノリジン環系を含有するもの [2]

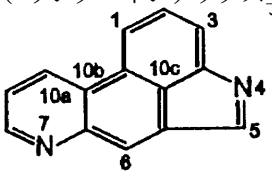
455/03　・少なくとも 1 個の 6 員炭素環と直接縮合したキノリジン環系を含有するもの , 例 . プロトベルベリン ; ジベンゾ〔a,g〕キノリジンのアルキレンジオキシ誘導体 , 例 . ベルベリン [3]

455/04　・・1 個の 6 員炭素環と縮合したキノリジン環系を含有するもの , 例 . ユロリジン [2,3]

455/06　・・・ベンゾ〔a〕キノリジン環系を含有するもの [2,3]

455/08　・・・・1 個の炭素原子を介して 2 位に結合したイソキノリル―1 基 , 置換されたイソキノリル―1 基またはアルキレンジオキシイソキノリル―1 基をもつもの , 例 . エメチン [2,3]

457/00　**インドロ〔4,3,―f,g〕キノリン環系 , 例 . 式**  **のエルゴリン誘導体 , を含有する複素環式化合物 , 例 . リゼリグ酸**（エルゴタマンから誘導される環状ペプチド型の化合物 C07D519/02）[2]

番号付けは「リング・インデックス」とは異なっている（「リング・インデックス」の番号付けは式  で与えられている。）[5]

457/02　・8 位に結合した炭化水素または置換炭化水素基を有するもの [2]

457/04　・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 8 位に直接結合したもの [2]

457/06　・・リゼルグ酸アミド [2]

457/08　・・・アミド窒素が複素環の一部であるもの [2]

457/10　・8 位に直接結合している異種原子を有するもの [2]

457/12　・・窒素原子 [2]

457/14　・炭素環または炭素環系と縮合したインドロ〔4,3―f,g〕キノリン環系を含有するもの [3]

459/00　**ベンゾ〔g〕インドロ〔2,3―a〕キノリジン環系を含有する複素環式化合物 , 例 . ヨヒンビン ; その 16,18―ラクトン , 例 . レセルピン酸ラクトン** [2]

A　レセルピン酸 , その誘導体

H　・18 位にエーテル基直結

Z　その他

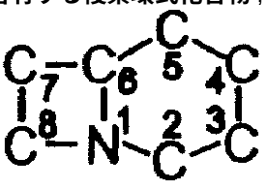
461/00　**インドロ〔3,2,1－d,e〕ピリド〔3,2,1－i,j〕〔1,5〕ナフチリジン環系を含有する複素環式化合物 , 例 . ビンカミン**（二重体インドロアルカロイド C07D519/04）[3]

A　16 位に Z 直結 , 但し ,Z は , 異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミド , ニトリル

E　・新規物質

Z　その他

463/00　**1 －アザビシクロ〔4,2,0〕オクタン環系を含有する複素環式化合物 , すなわち , 式 :**



の環系を含む化合物 , 例 . カルバセファロスポリン ; このような環系に , たとえば 2,3 位で , 酸素 , 窒素または硫黄を含む複素環がさらに縮合した環系 [5]

463/02　・製造（微生物学的工程によるもの C12 P17/18）[6]

463/04　・・環系または縮合環系の形成による製造 [6]

463/06　・・環系または縮合環系をすでに含有する化合物を出発化合物とする製造 , たとえば環の脱水素処理 , 置換基の導入 , 脱離または変成によるもの [6]

463/08　・・・2 位に直接結合したカルボキシル基の変成 , 例 . エステル化 [6]

463/10　・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . ニトリルまたはエステル , が 2 位に直接結合したもの [6]

463/12　・・7 位に結合した水素原子 , 炭化水素または置換された炭化水素基を有するもの [6]

463/14　・・7 位に直接結合した異種原子を有するもの [6]

463/16　・・・窒素原子 [6]

463/18　・・・・カルボン酸またはその窒素または硫黄類似体から誘導した基によりアシル化されたもの [6]

463/20　・・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , または異種原子によって置換されたアシル基を有するもの [6]

463/22　・・・・・・窒素原子により置換されたもの [6]

471/00　**縮合系中に異項原子として窒素原子のみを含有し , 少なくとも 1 個の環が 1 個の窒素原子をもつ 6 員環であり** ,C07D451/00-C07D463/00 **に属さない複素環式化合物** [2,5]

471/02　・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]

471/04　・・オルソ－縮合系 [2,5]

471/04　101　・・・5 員及び 6 員の複素環を含有するもの

471/04　102　・・・・窒素原子を 1 個もつ 5 員環

471/04　103　・・・・・α－ , β－ , γ－ , 又はδ－カルボリン

A　β－カルボリン

E　・3 位に Z 直結 , 但し ,Z は異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミド , ニトリル

H　・HyN に置換基が直結 , 但し ,HyN は , 複素環の窒素原子

M　・1 位に＝ O 直結

P　・製法

S　γ－カルボリン

Z　その他

471/04　104　・・・・・ピロロピリジン

A　インドリジン

H　ピロロ〔3,4 － b〕ピリジン

Z　その他

471/04　105　・・・・窒素原子を 2 個もつ 5 員環

A　ピラゾロピリジン環含有

C　イミダゾピリジン環含有

E　・イミダゾ〔1,2 － a〕ピリジン又はイミダゾ〔1,5 － a〕ピリジン環含有

P　6 員炭素環を介して複素環が縮合しているもの

Z　その他

471/04　106　・・・・・ピラゾロピリジン

A　ピラゾロ〔1,5 － a〕ピリジン

C　ピラゾロ〔3,4 － b〕ピリジン

H　ピラゾロ〔4,3 － c〕ピリジン

Z　その他

471/04　107　・・・・・イミダゾピリジン

A　1-3 位に異種原子が直結

E　4-7 位に異種原子または Z が直結 , 但し ,Z は , 異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くとも 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル , アミド , ニトリル

K　2 位にアリール基が直結

Z　その他

471/04　108　・・・・・・イミダゾ〔1,2 － a〕ピリジン又はイミダゾ〔1,5 － a〕ピリジン

A　イミダゾ〔1,2 － a〕ピリジン

E　・4-7 位に異種原子が直結

K　・2 位にアリール基が直結

Q　・複素環に複素環基が直結

X　イミダゾ〔1,5 － a〕ピリジン

Z　その他

471/04　111　・・・6 員の複素環を 2 個含有するもの

471/04　112　・・・・窒素原子を 1 個もつ 6 員の複素環を 2 個含有するもの

A　ベンゾ〔b〕－ナフチリジン

T　フエナントロリン

X　キナクリジン

Z　その他

471/04　113　・・・・・ナフチリジン

471/04　114　・・・・・・1,8 －ナフチリジン

A　新規物質

N　製法

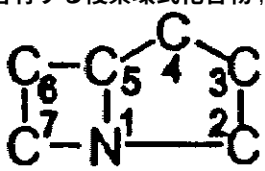
Z　その他

471/04　116　・・・・窒素原子を 1 個もつ 6 員環と窒素原子を 2 個もつ 6 員環

471/04　117　・・・・・ピリドピリミジン

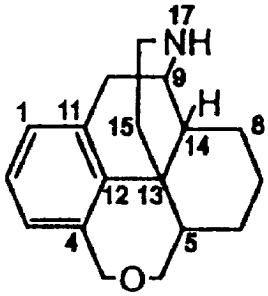
A　ピリド [1,2 － a] ピリミジン系

N　ピリド [4,3 － d] ピリミジン系
Z　その他
471/04 118　・・・・・・ピリド〔2,3 － d〕ピリミジン
A　ピリド [2,3 － d] ピリミジン－ 5 －オン系
N　・製法
Z　その他
471/04 119　・・・・・窒素原子を 1 個もつ 6 員環と 1,2 －ジアジン環
471/04 120　・・・・・窒素原子を 1 個もつ 6 員環と ,1,4 －ジアジン環
471/04 121　・・・6 員及び 7 員以上の複素環を含有するもの
471/04 122　・・・4 員及び ,6 員の複素環を含有するもの
471/06　・・ペリ－縮合系 [2]
471/08　・・架橋系 [2]
471/10　・・スピロ－縮合系 [2]
471/10 101　・・・窒素原子を 1 個のみもつ複素環を含有するもの
471/10 102　・・・窒素原子を 2 個以上もつ複素環を含有するもの
471/10 103　・・・・1,3 －ジアゾ－ル環を含有するもの
471/12　・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]
471/14　・・オルソ－縮合系 [2]
471/14 101　・・・窒素原子を 1 個のみもつ複素環を含有するもの
471/14 102　・・・窒素原子を 2 個以上もつ複素環を含有するもの
471/16　・・ペリ－縮合系 [2]
471/18　・・架橋系 [2]
471/20　・・スピロ－縮合系 [2]
471/20 301　・・・ビンカジホルミン系
471/22　・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]
473/00　**プリン環系を含有する複素環式化合物** [2]
473/02　・2 位および 6 位に直接結合する酸素 , 硫黄または窒素原子を有するもの [2]
473/04　・・2 個の酸素原子 [2]
473/06　・・・1 位または 3 位に結合する水素および炭素原子のみを含有する基を有するもの [2]
473/08　・・・・1 位および 3 位にメチル基を有するもの , 例 . テオフィリン [2]
473/08 301　・・・・・製法
473/10　・・・・3 位および 7 位にメチル基を有するもの , 例 . テオブロミン [2]
473/10 301　・・・・・製法
473/12　・・・・1 位 ,3 位および 7 位にメチル基を有するもの , 例 . カフェイン [2]
473/14　・・・・1 位および 3 位に 2 個のメチル基を有し ,7 位 ,8 位または 9 位に 2 個のメチル基を有するもの [2]
473/16　・・2 個の窒素原子 [2]
473/18　・・1 個の酸素および 1 個の窒素原子 , 例 . グアニン [2]
473/20　・・2 個の硫黄原子 [2]
473/22　・・1 個の酸素および 1 個の硫黄原子 [2]
473/24　・・1 個の窒素および 1 個の硫黄原子 [2]
473/26　・2 位または 6 位の一方にのみ直接結合する酸素 , 硫黄または窒素原子を有するもの [2]
473/28　・・酸素原子 [2]
473/30　・・・6 位に結合するもの , 例 . ヒポキサンチン [2]
473/32　・・窒素原子 [2]
473/34　・・・6 位に結合するもの , 例 . アデニン [2]
473/34 301　・・・・アデニンの製法
473/34 311　・・・・6 － N －非置換誘導体
473/34 321　・・・・・新規物質（但し , 中間体は除く）
473/34 325　・・・・・・抗脂血症剤 , 抗コレステロール剤
473/34 351　・・・・6 － N －置換誘導体
473/34 361　・・・・・新規物質（但し , 中間体は除く）
473/36　・・硫黄原子 [2]
473/38　・・・6 位に結合するもの [2]
473/40　・2 位または 6 位に直接結合するハロゲン原子または過ハロゲノ－アルキル基を有するもの [2]
475/00　**プテリジン環系を含有する複素環式化合物** [2]
475/02　・4 位に直接結合する酸素原子を有するもの [2]
475/04　・・2 位に直接結合する窒素原子を有するもの [2]
475/06　・4 位に直接結合する窒素原子を有するもの [2]
475/08　・・2 位に直接結合する窒素原子を有するもの [2]
475/10　・・2 位に直接結合する芳香族または複素芳香族環を有するもの [2]
475/12　・炭素環または炭素環系と縮合したプテリジン環系を含有するもの [3]
475/14　・・ベンゾ〔g〕プテリジン , 例 . リボフラビン [3]
477/00　**1 －アザビシクロ〔3.2.0〕ヘプタン環系を含有する複素環式化合物 , すなわち , 式 :**



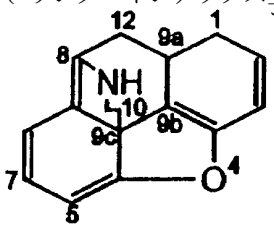
の環系を含有する化合物 , 例 . カルバペニシリン , チエナマイシン ; このような環系に , たとえば 2,3 位で , 酸素 , 窒素または硫黄を含む複素環がさらに縮合した環系 [5]
477/02　・製造（微生物学的工程によるもの C12 P17/18）[6]
477/04　・・環系または縮合環系を形成することによるもの [6]
477/06　・・環系または縮合環系をすでに含有する化合物を出発化合物とする製造 , たとえば環の脱水素処理 , 置換基の導入 , 脱離または変成によるもの [6]
477/08　・・・2 位に直接結合したカルボキシル基の変成 , 例 . エステル化 [6]
477/10　・4 位に直接結合した水素原子 , 炭化水素基または置換された炭化水素基を有し , さらに異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル基またはニトリル基 , が 2 位に直接結合したもの [6]

477/12　・・6 位に結合した水素原子 , 炭化水素基または置換された炭化水素基を有するもの [6]
477/14　・・・3 位に結合した水素原子 , 炭化水素基または置換された炭化水素基を有するもの [6]
477/16　・・・3 位に直接結合した異種原子または異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例エステル基またはニトリル基 , を有するもの [6]
477/18　・・・・酸素原子 [6]
477/20　・・・・硫黄原子 [6]
477/22　・・・・窒素原子 [6]
477/24　・・6 位に直接結合した異種原子または異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル基またはニトリル基 , を有するもの [6]
477/26　・4 位に直接結合した異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル基またはニトリル基 , を有するもの [6]
487/00　**縮合系中に異項原子として窒素原子のみを含有し** ,C07D451/00-C07D477/00 **までに属さない複素環式化合物** [2,5]
487/02　・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]
487/04　・・オルソ－縮合系 [2,5]
487/04　132　・・・3 員の複素環を含有するもの
487/04　133　・・・4 員の複素環を含有するもの
487/04　135　・・・・1,5 －ジアザビシクロ〔4.2.0〕オクタン
487/04　136　・・・5 員の複素環を 2 個含有するもの
487/04　137　・・・・窒素原子を 1 個もつ 5 員環を 2 個含有するもの
487/04　138　・・・・窒素原子を 1 個もつ 5 員環と窒素原子を 2 個もつ 5 員環を含有するもの
487/04　139　・・・・窒素原子を 3 個もつ 5 員環を含有するもの
487/04　140　・・・5 員及び 6 員の複素環を含有するもの
487/04　141　・・・・ピラゾール環との縮合系
487/04　142　・・・・・ピラゾロピリミジン
487/04　143　・・・・・・ピラゾロ〔3,4 － d〕ピリミジン
487/04　144　・・・・イミダゾール環との縮合系
487/04　145　・・・・窒素原子を 3 個以上もつ 5 員環との縮合系
487/04　146　・・・・・トリアゾロピリミジン
487/04　147　・・・6 員の複素環を 2 個含有するもの
487/04　148　・・・・ピリミドピリミジン
487/04　149　・・・7 員の複素環及び 5 員以上の複素環を含有するもの
487/04　150　・・・・窒素原子を 1 個もつ 7 員環を含有するもの
487/04　151　・・・・窒素原子を 2 個もつ 7 員環を含有するもの
487/04　152　・・・・・5 員環との縮合系
487/04　153　・・・・・・窒素原子を 2 個以上もつ 5 員環との縮合系
487/04　154　・・・・・・・イミダゾー 1,4 －ベンゾジアゼピン
487/04　155　・・・・・・・トリアゾロ－ 1,4 －ベンゾジアゼピン
487/04　156　・・・・・・・・トリアゾロ〔4,3 － a〕〔1,4〕ベンゾジアゼピン
487/04　157　・・・8 員以上の複素環及び 5 員以上の複素環を含有するもの
487/06　・・ペリ－縮合系 [2]
487/08　・・架橋系 [2]
487/10　・・スピロ－縮合系 [2]
487/12　・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]
487/14　・・オルソ－縮合系 [2]
487/16　・・ペリ－縮合系 [2]
487/18　・・架橋系 [2]
487/20　・・スピロ－縮合系 [2]
487/22　・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]
489/00　4aH－8,9c－**イミノエタノ－フェナントロ**〔4,5－b,c,d〕**フラン環系を含有する複素環式化合物** , **例** . **式**



の〔4,5－**エポキシ**〕－**モルフィナンの誘導体** [2]

番号付けは「リング・インデックス」とは異なっている（「リング・インデックス」の番号付けは式　で与えられている。）[5]



489/02　・3 位および 6 位に結合した酸素原子を有するもの , 例 . モルフィン , モルフィノン [2]
489/04　・・塩 ; 有機錯化合物 [2]
489/06　・14 位に直接結合する異種原子を有するもの [2]
489/08　・・酸素原子 [2]
489/09　・炭素環または炭素環系と縮合した 4aH－8,9c－イミノエタノ－フェナンスロ〔4,5－b,c,d〕フラン環系を含有するもの [3]
489/10　・・6 および 14 位間に架橋を有するもの [2,3]
489/12　・・・2 個の炭素原子のみを含有する架橋 [2,3]
491/00　**縮合系中に異項原子として酸素原子のみを持つ** 1 **個以上の環と異項原子として窒素原子のみを持つ** 1 **個以上の環とを含有し** ,C07D451/00-C07D459/00,C07D463/00,C07D477/00, **または** C07D489/00 **に属さない複素環式化合物** [2]
491/02　・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]
491/04　・・オルソ－縮合系 [2]
491/044　・・・酸素含有環中に異項原子として 1 個の酸素原子のみを有するもの [3]

491/048 ・・・・酸素含有環が 5 員環であるもの [3]

491/052 ・・・・酸素含有環が 6 員環であるもの [3]

491/056 ・・・酸素含有環中に異項原子として 2 個以上の酸素原子を有するもの [3]

491/06 ・・ペリ―縮合系 [2]

491/08 ・・架橋系 [2]

491/10 ・・スピロ―縮合系 [2]

491/107 ・・・酸素含有環中に異項原子として 1 個の酸素原子のみを有するもの [3]

491/113 ・・・酸素含有環中に異項原子として 2 個以上の酸素原子を有するもの [3]

491/12 ・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]

491/14 ・・オルソ―縮合体 [2]

491/147 ・・・異項原子として酸素を有する 1 個の環と異項原子として窒素を有する 2 個の環とを含有する縮合系 [3]

491/153 ・・・異項原子として酸素を有する 2 個の環と異項原子として窒素を有する 1 個の環とを含有する縮合系 [3]

491/16 ・・ペリ―縮合系 [2]

491/18 ・・架橋系 [2]

491/20 ・・スピロ―縮合系 [2]

491/22 ・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]

493/00 **縮合系中に異項原子として酸素原子のみを含有する複素環式化合物** [2]

493/02 ・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]

493/04 ・・オルソ―縮合系 [2]

493/04 101 ・・・5 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

A 酸素原子をもつ複素環が炭素環を介して縮合しているもの

B ・無水ピロメリツト酸

C 酸素原子をもつ複素環が直接縮合しているもの

D ・ジアンヒドロヘキシトール ; その誘導体

E ・・そのニトレート

Z その他のもの

493/04 106 ・・・6 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

A 酸素含有環が直接縮合しているもの

B ・多価アルコールのアセタール

C 酸素含有環が炭素環を介して縮合しているもの

D ・フロベンゾピラノン

Z その他のもの

493/04 111 ・・・7 員以上の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

493/06 ・・ペリ―縮合系 [2]

493/08 ・・架橋系 [2]

A 5 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

B 6 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

C 7 員以上の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

Z その他のもの

493/10 ・・スピロ―縮合系 [2]

A 酸素原子をもつ 5 員環を有するもの

B 酸素原子をもつ 6 員環を有するもの

C ・酸素原子をもつ複素環が直接縮合しているもの

D ・・スピロオルソエステル

E ・・フルオラン化合物

F ・酸素原子をもつ複素環が炭素環を介して縮合しているもの

G 酸素原子をもつ 7 員以上の環を有するもの

Z その他のもの

493/12 ・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]

493/14 ・・オルソ―縮合系 [2]

493/16 ・・ペリ―縮合系 [2]

493/18 ・・架橋系 [2]

493/20 ・・スピロ―縮合系 [2]

493/22 ・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]

495/00 **縮合系中に異項原子として硫黄原子のみをもつ少なくとも 1 個の複素環を含有する複素環式化合物** [2]

495/02 ・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]

495/04 ・・オルソ―縮合系 [2]

495/04 101 ・・・硫黄原子のみをもつ 5 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

495/04 102 ・・・・窒素原子のみを含有する複素環との縮合系

495/04 103 ・・・・・窒素原子のみをもつ 5 員環

495/04 105 ・・・・・窒素原子のみをもつ 6 員環

A 窒素含有環中に異項原子として 1 個の窒素原子のみを有するもの

Z その他のもの

495/04 108 ・・・・・窒素原子のみをもつ 7 員以上の複素環

495/04 111 ・・・硫黄原子のみをもつ 6 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

495/04 116 ・・・硫黄原子のみをもつ 7 員以上の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

495/06 ・・ペリ―縮合系 [2]

495/08 ・・架橋系 [2]

495/10 ・・スピロ―縮合系 [2]

495/12 ・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]

495/14 ・・オルソ―縮合系 [2]

A 硫黄原子のみをもつ 5 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

B ・窒素原子のみをもつ複素環との縮合系

C ・・窒素原子のみをもつ 5 員環

D ・・窒素原子のみをもつ 6 員環

E ・・窒素原子のみをもつ 7 員以上の複素環

F 硫黄原子のみをもつ 6 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

Z その他のもの

495/16 ・・ペリ―縮合系 [2]

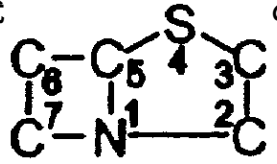
495/18 ・・架橋系 [2]

495/20 ・・スピロ―縮合系 [2]

495/22 ・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]

497/00 **縮合系中に異項原子として酸素および硫黄原子のみをもつ少なくとも 1 個の複素環を含有する複素環式化合物** [2]

497/02　・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]
497/04　・・オルソ―縮合系 [2]
497/06　・・ペリ―縮合系 [2]
497/08　・・架橋系 [2]
497/10　・・スピロ―縮合系 [2]
497/12　・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]
497/14　・・オルソ―縮合系 [2]
497/16　・・ペリ―縮合系 [2]
497/18　・・架橋系 [2]
497/20　・・スピロ―縮合系 [2]
497/22　・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]
498/00　**縮合系中に異項原子として窒素および酸素原子のみをもつ少なくても 1 個の複素環を含有する複素環式化合物（4 ―オキサ― 1 ―アザビシクロ〔3.2.0〕ヘプタン , 例 . オキサペニシリン** C07D503/00 ;5 **―オキサ― 1 ―アザビシクロ〔4.2.0〕オクタン , 例 . オキサセファロスポリン** C07D505/00; **他の位置に環酸素原子をもつそれらの類似体** C07D507/00**）**[2,6]
498/02　・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]
498/04　・・オルソ―縮合系 [2]
498/04 101　・・・窒素及び酸素原子のみをもつ 5 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの
498/04 102　・・・・窒素原子のみをもつ複素環との縮合系
N　4 ―オキサ― 2,6 ―ジアザ―ビシクロ〔3.2.0〕ヘプタン系
Z　その他
498/04 103　・・・・・窒素原子のみをもつ 5 員環
498/04 105　・・・・・窒素原子のみをもつ 6 員環
498/04 108　・・・・・窒素原子のみをもつ 7 員以上の複素環
498/04 111　・・・窒素及び酸素原子のみをもつ 6 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの
498/04 112　・・・・窒素原子のみをもつ複素環との縮合系
A　4 員 N 環系
Q　5 員 N 環系
T　6 員 N 環系
Z　その他
498/04 116　・・・窒素及び酸素原子のみをもつ 7 員以上の複素環を少なくとも 1 個含有するもの
498/06　・・ペリ―縮合系 [2]
498/08　・・架橋系 [2]
498/08 301　・・・リファマイシン系
498/10　・・スピロ―縮合系 [2]
A　オキサゾール環系
J　・1 ―オキサ― 4,8 ―ジアザスピロ [4.5] デカン系
S　オキサジン環系
Z　その他
498/12　・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]
498/14　・・オルソ―縮合系 [2]
498/16　・・ペリ―縮合系 [2]
498/18　・・架橋系 [2]
498/18 301　・・・リファマイシン系
498/18 311　・・・メイタンシノイド系
498/20　・・スピロ―縮合系 [2]
498/22　・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]
498/22 301　・・リファマイシン系
499/00　**4 ―チア― 1 ―アザビシクロ〔3.2.0〕ヘプタン環系を含有する複素環式化合物 , すなわち , 式**



の環系を含む化合物 , 例 . ペニシリン , ペネム ; このような環系に , たとえば 2,3 **位で , 酸素 , 窒素または硫黄を含む複素環がさらに縮合した環系** [2]
499/04　・製造 [2,6]
A　6 位カルボキサミド基の変換
B　6 位カルボキサミド基に対し α 位置換基の変成
D　6 位に第 2 番目の置換基の導入並びに変換
E　3 位置換基の変成
F　4 位環硫黄原子の変成
Z　その他
499/06　・・環系または縮合環系の形成によるもの（微生物学的方法によるもの C12P37/00）[2,6]
499/08　・・2 位に直接結合したカルボキシル基の変成 , 例 . エステル化 [2,6]
499/10　・・6 位に直接結合したアミノ基の変成 [2,6]
A　6 位窒素原子および非ペニシリン骨格炭素原子との間に二重結合の形成
C　脱アシル化
D　・遊離アミノ化
Z　その他
499/12　・・・アシル化 [2,6]
499/14　・・塩の製造 [2,6]
499/16　・・・アルカリまたはアルカリ土類金属の [2,6]
499/18　・・分離 ; 精製 [2,6]
499/20　・・・有機塩基との塩による [2,6]
499/21　・窒素原子が 6 位に直接結合し , そして異種原子に対する 3 個の結合をもちそのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 2 位に直接結合したもの [6]
A　6 位窒素原子および非ペニシリン骨格非環炭素原子との間に二重結合を有するもの
B　・非環炭素原子に第 2 番目の窒素原子が結合したもの
Z　その他
499/22　・・有機塩基との塩 ; 有機化合物との錯体 [2]
499/24　・・・アミノ基含有非環式または炭素環式化合物を有するもの [2]
499/26　・・・複素環式化合物を有するもの [2]
499/28　・・変成された 2―カルボキシル基を有するもの [2]
499/30　・・・酸無水物 [2]
499/32　・・・エステル [2]
499/34　・・・チオ酸 ; そのエステル [2]

499/36　・・・・O―エステル [2]
499/38　・・・・S―エステル [2]
499/40　・・・アミド ; ヒドラジド ; アジド [2]
499/42　・・6 位に結合する遊離第 1 級アミノ基を有する化合物 [2]
499/44　・・カルボン酸でアシル化されたアミノ基が 6 位に結合した化合物 [2]
499/46　・・・非環式炭化水素基がまたは炭素環または複素環で置換された同様の基がカルボキサミド基に結合したもの [2]
499/48　・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , で置換された炭素鎖がカルボキサミド基に結合したもの [2]
499/50　・・・・カルボキサミド基に対し β ―位で置換しているもの [2]
499/52　・・・・・酸素または硫黄原子によるもの [2]
499/54　・・・・・窒素原子によるもの [2]
499/56　・・・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子によるもの [2]
499/58　・・・・カルボキサミド基に対し α ―位で置換しているもの [2]
499/60　・・・・・酸素原子によるもの [2]
499/62　・・・・・硫黄原子によるもの [2]
499/64　・・・・・窒素原子によるもの [2]
A　3 位に 2 つのメチル基を有するもの
B　・非置換のアミノ基を有するもの
D　・α 位にアシル化されたアミノ基を有するもの
E　・・複素環が直接結合するカルボン酸またはその硫黄または窒素類似体によりアシル化されたもの
G　・・ウレイドまたはその硫黄または窒素類似体を有するもの
H　・・・末端部の窒素原子で環をまいているもの
J　・6 位に第 2 番目の置換基を有するもの
Z　その他
499/66　・・・・・・炭素鎖上に付加的置換基として脂環式環を有するもの [2]
A　3 位に 2 つのメチル基を有するもの
B　・非置換のアミノ基を有するもの
D　・α 位にアシル化されたアミノ基を有するもの
E　・・複素環が直接結合するカルボン酸またはその硫黄または窒素類似体によりアシル化されたもの
G　・・ウレイドまたはその硫黄または窒素類似体を有するもの
H　・・・末端部の窒素原子で環をまいているもの
J　・6 位に第 2 番目の置換基を有するもの
Z　その他
499/68　・・・・・・炭素鎖上に付加的置換基として芳香族環を有するもの [2]
A　3 位に 2 つのメチル基を有するもの
B　・非置換のアミノ基を有するもの
D　・α 位にアシル化されたアミノ基を有するもの
E　・・複素環が直接結合するカルボン酸またはその硫黄または窒素類似体によりアシル化されたもの
G　・・ウレイドまたはその硫黄または窒素類似体を有するもの
H　・・・末端部の窒素原子で環をまいているもの
J　・6 位に第 2 番目の置換基を有するもの
Z　その他
499/70　・・・・・・炭素鎖上に付加的置換基として複素環を有するもの [2]
A　3 位に 2 つのメチル基を有するもの
B　・非置換のアミノ基を有するもの
D　・α 位にアシル化されたアミノ基を有するもの
E　・・複素環が直接結合するカルボン酸またはその硫黄または窒素類似体によりアシル化されたもの
G　・・ウレイドまたはその硫黄または窒素類似体を有するもの
H　・・・末端部の窒素原子で環をまいているもの
J　・6 位に第 2 番目の置換基を有するもの
Z　その他
499/72　・・・・・異種原子に対し 3 個の結合をもつ炭素原子によるもの [2]
499/74　・・・カルボキサミド基に直接結合する炭素環を有するもの [2]
499/76　・・・カルボキサミド基に直接結合する複素環を有するもの [2]
499/78　・・炭酸によってまたはその窒素または硫黄の類似体によってアシル化されたアミノ基が 6 位に結合した化合物 [2]
499/80　・・窒素含有複素環が 6 位に環の窒素原子で結合した化合物 [2]
499/86　・窒素原子以外の原子のみが 6 位に直接結合し , そして異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 2 位に直接結合したもの [5,6]
499/861　・・6 位に直接結合した炭化水素基または置換炭化水素基をもつもの [6]
499/865　・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 6 位に直接結合したもの [6]
499/87　・3 位が置換されていないか , または 3 位に結合した 2 個のメチル基以外の置換基をもち , そして異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 2 位に直接結合した化合物 [6]

499/88　・2 位と 3 位の間に二重結合を有し , そして異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例エステルまたはニトリル基 , が 2 位に直接結合した化合物 [5,6]

499/881　・・3 位に結合した水素原子または非置換炭化水素基をもつもの [6]

499/883　・・3 位に結合した置換炭化水素基をもつもの [6]

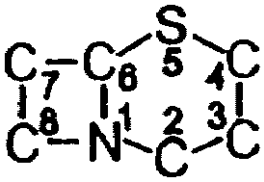
499/887　・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , が 3 位に直接結合したもの [6]

499/893　・・3 位に直接結合した複素環または縮合複素環系をもつもの [6]

499/897　・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子以外の置換基が 2 位に直接結合した化合物 [6]

499/90　・さらに炭素環または炭素環系と縮合したもの [5]

501/00　**5 －チアー 1 －アザビシクロー [4.2.0] オクタン環系 , すなわち , 式**



の環系を含む化合物 , 例 . セファロスポリン ; このような上記環系に , たとえば 2,3 位で , 酸素 , 窒素 , または硫黄を含む複素環がさらに縮合した環系 [2]

501/02　・製造 [2]

501/04　・・すでに環系または縮合環系を含有する化合物から , 例 . 脱水素によるもの , 置換基の導入 , 脱離または変成によるもの [2]

501/06　・・・7 －アミノセファロスポラン酸のアシル化 [2]

501/08　・・環系または縮合環系の形成によるもの（微生物学的方法によるもの C12P35/00）[2]

501/10　・・・ペニシリン環系を含有する化合物からのもの [2]

501/12　・・分離 ; 精製 [2]

501/14　・7 位に直接結合する窒素原子をもつ化合物 [2]

501/16　・・2 位および 3 位との間に二重結合を有するもの [2]

501/18　・・・7―アミノセファロスポラン酸または置換 7―アミノセファロスポラン酸 [2]

501/20　・・・アシル基がカルボン酸に由来する ,7―アシルアミノセファロスポラン酸または置換 7―アシルアミノセファロスポラン酸 [2]

501/20　101　・・・・異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基をカルボキサミド基のα位に有するもの

501/20　102　・・・・・酸素原子

501/20　103　・・・・・硫黄原子

501/20　104　・・・・・窒素原子

501/20　105　・・・・・・二重結合の窒素原子

501/22　・・・・3 位に結合する , 水素および炭素原子のみを含有する基を有するもの [2]

501/22　101　・・・・・異種原子で置換された脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7 －アミノ基を有するもの

501/22　102　・・・・・芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7 －アミノ基を有するもの

501/22　103　・・・・・異種原子で脂肪族基上が置換された芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7 －アミノ基を有するもの

501/22　104　・・・・・・異種原子をカルボキサミド基のα位に有するもの

501/22　105　・・・・・・・酸素原子

501/22　106　・・・・・・・硫黄原子

501/22　107　・・・・・・・窒素原子

501/22　108　・・・・・・・・二重結合の窒素原子

501/22　109　・・・・・複素環を含有するカルボン酸によりアシル化された 7 －アミノ基を有するもの

501/22　110　・・・・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基 , をカルボキサミド基のα位に有するもの

501/22　111　・・・・・・・酸素原子

501/22　112　・・・・・・・硫黄原子

501/22　113　・・・・・・・窒素原子

501/22　114　・・・・・・・・二重結合の窒素原子

501/24　・・・・3 位に結合する , 異種原子または複素環で置換された炭化水素基を有するもの [2]

501/26　・・・・・酸素原子で置換されたメチレン基 ;2―カルボキシル基をもつそのラクトン [2]

501/28　・・・・・・異種原子で置換された脂肪族カルボン酸によりアシル化された 7―アミノ基を有するもの [2]

501/30　・・・・・・芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化された 7―アミノ基を有するもの [2]

501/32　・・・・・・異種原子により脂肪族基上が置換された芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7―アミノ基を有するもの [2]

501/32　101　・・・・・・・異種原子をカルボキサミド基のα位に有するもの

501/32　102　・・・・・・・酸素原子

501/32　103　・・・・・・・硫黄原子

501/32　104　・・・・・・・窒素原子

501/32　105　・・・・・・・・二重結合の窒素原子

501/34　・・・・・・複素環を含有するカルボン酸によりアシル化された 7―アミノ基を有するもの [2]

501/34　101　・・・・・・・異種原子 , または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基をカルボキサミド基のα位に有するもの

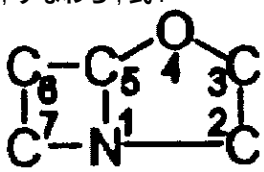
501/34　102　・・・・・・・・酸素原子

501/34　103　・・・・・・・・硫黄原子

501/34　104　・・・・・・・・窒素原子

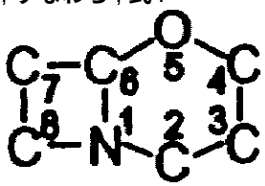
501/34　105　・・・・・・・・・二重結合の窒素原子

501/36　　・・・・・硫黄原子で置換されたメチレン基 [2]
501/36　101　・・・・・・異種原子で置換された脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7 －アミノ基を有するもの
501/36　102　・・・・・・芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化された 7 －アミノ基を有するもの
501/36　103　・・・・・・異種原子で脂肪族基上が置換された芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7 －アミノ基を有するもの
501/36　104　・・・・・・・異種原子をカルボキサミド基のα位に有するもの
501/36　105　・・・・・・・・酸素原子
501/36　106　・・・・・・・・硫黄原子
501/36　107　・・・・・・・・窒素原子
501/36　108　・・・・・・・・・二重結合の窒素原子
501/36　109　・・・・・・複素環を含有するカルボン酸によりアシル化された 7 －アミノ基を有するもの
501/36　110　・・・・・・・異種原子または異種原子に対する 3 個の結合を有し , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステルまたはニトリル基をカルボキサミド基のα位に有するもの
501/36　111　・・・・・・・・酸素原子
501/36　112　・・・・・・・・硫黄原子
501/36　113　・・・・・・・・窒素原子
501/36　114　・・・・・・・・・二重結合の窒素原子
501/38　　・・・・・窒素原子で置換されたメチレン基 ;2―カルボキシル基を有するそのラクタム ; 環の窒素原子により結合している窒素含有複素環で置換されたメチレン基 ; その第 4 級化合物 [2]
501/40　　・・・・・・異種原子で置換された脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7―アミノ基を有するもの [2]
501/42　　・・・・・・芳香脂肪カルボン酸によりアシル化された 7―アミノ基を有するもの [2]
501/44　　・・・・・・異種原子で脂肪族基上が置換された芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7―アミノ基を有するもの [2]
501/46　　・・・・・・複素環を含有するカルボン酸によりアシル化された 7―アミノ基を有するもの [2]
501/48　　・・・・・複素環で置換されたメチレン基（C07D501/38-C07D501/46 が優先）[2]
501/50　　・・・・・・異種原子で置換された脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7―アミノ基を有するもの [2]
501/52　　・・・・・・芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7―アミノ基を有するもの [2]
501/54　　・・・・・・異種原子で脂肪族基上が置換された芳香脂肪族カルボン酸によりアシル化されている 7―アミノ基を有するもの [2]
501/56　　・・・・・・複素環を含有するカルボン酸によりアシル化された 7―アミノ基を有するもの [2]
501/57　　・・・・7 位にさらに置換基を有するもの , 例 . セファマイシン [3]
501/57　101　・・・・・3 位に結合する , 酸素原子で置換されたメチレン基 ;2 －カルボキシル基をもつそのラクトン
501/57　102　・・・・・3 位に結合する , 硫黄原子で置換されたメチレン基
501/57　103　・・・・・3 位に結合する , 窒素原子で置換されたメチレン基
501/58　　・・・7 位に結合する , 複素環の一部である窒素原子を有するもの [2]
501/59　　・・・3 位に直接結合する異種原子を有するもの [3]
501/60　　・・3 位と 4 位との間に二重結合を有するもの [2]
501/62　　・炭素環または炭素環系とさらに縮合した化合物 [3]
503/00　　4 **－オキサ－** 1 **－アザビシクロ**〔3,2,0〕**ヘプタン環系を含有する複素環式化合物** , **すなわち** , **式** :



の環系を含有する化合物 , **例** . **オキサペニシリン** , **クラブラン酸誘導体** ; **このような環系に** , **たとえば** 2,3 **位で** , **酸素** , **窒素** , **または硫黄を含む複素環がさらに縮合した環系** [6]
503/02　　・製造（微生物学的方法によるもの C12 P17/18）[6]
503/04　　・・環系または縮合環系の形成によるもの [6]
503/06　　・・環系または縮合環系をすでに含有する化合物を出発化合物とする製造 , たとえば環の脱水素処理 , 置換基の導入 , 脱離または変成によるもの [6]
503/08　　・・・2 位に直接結合したカルボキシル基の変成 , 例 . エステル化 [6]
503/10　　・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 .2 位に直接結合したエステル基またはニトリル基 , が 2 位に直接結合したもの [6]
503/12　　・・6 位が置換されていないもの [6]
503/14　　・・・異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合であるような炭素原子以外の水素原子 , 炭化水素または置換炭化水素基で ,3 位に結合したもの [6]
503/16　　・・・・異種原子または , 異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子 , 例 . エステル基またはニトリル基 , で置換された基 [6]
503/18　　・・・・・酸素原子によるもの [6]
503/20　　・・・・・硫黄原子によるもの [6]
503/22　　・・・・・窒素原子によるもの [6]

505/00　**5 －オキサ－ 1 －アザビシクロ〔4,2,0〕オクタン環系を含有する複素環式化合物 , すなわち , 式 :**



の環系を含有する化合物 , 例 . オキサセファロスポリン ; このような環系に , たとえば 2,3 位で酸素 , 窒素 , または硫黄を含む複素環がさらに縮合した環系 [6]

505/02　・製造（微生物学的方法によるもの C12 P17/18）[6]

505/04　・・環系または縮合環系の形成によるもの [6]

505/06　・・環系または縮合環系をすでに含有する化合物を出発化合物とする製造 , たとえば環の脱水素処理 , 置換基の導入 , 脱離または変成によるもの [6]

505/08　・・・2 位に直接結合したカルボキシル基の変成 , 例 . エステル化 [6]

505/10　・異種原子に対する 3 個の結合をもつ炭素原子で , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合であり ,2 位に直接結合したもの , 例 . エステル基またはニトリル基 [6]

505/12　・・7 位が置換されたもの [6]

505/14　・・・7 位に直接結合した異種原子を有するもの [6]

505/16　・・・・窒素原子 [6]

505/18　・・・・・カルボン酸またはその窒素類似体 , または硫黄類似体から誘導された基によって , さらにアシル化されたもの [6]

505/20　・・・・・・異種原子または異種原子に対する 3 個の結合をもち , そのうち多くても 1 個がハロゲンに対する結合である炭素原子で置換されたアシル化基 [6]

505/22　・・・・・・・単結合の窒素原子により置換されたもの [6]

505/24　・・・・・・・二重結合の窒素原子により置換されたもの [6]

507/00　**縮合ベータラクタム環系を含有する複素環式化合物で , グループ** C07D463/00 ,C07D477/00 **または** C07D499/00-C07D505/00 **に分類されないもの ; このような環系がさらに縮合したもの** [6]

507/02　・3 －オキサ－ 1 －アザビシクロ〔3,2,0〕ヘプタン環系を含有するもの [6]

507/04　・2 －オキサ－ 1 －アザビシクロ〔4,2,0〕オクタン環系を含有するもの [6]

507/06　・3 －オキサ－ 1 －アザビシクロ〔4,2,0〕オクタン環系を含有するもの [6]

507/08　・4 －オキサ－ 1 －アザビシクロ〔4,2,0〕オクタン環系を含有するもの [6]

513/00　**縮合系中に異項原子として窒素および硫黄原子のみをもつ少なくとも 1 個の複素環を含有し** ,C07D463/00,C07D477/00, **または** C07D499/00-C07D507/00 **のグループに属さない複素環式化合物** [2,6]

513/02　・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]

513/04　・・オルソ―縮合系 [2]

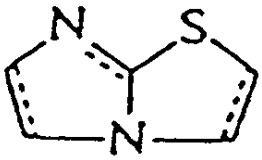
513/04　301　・・・窒素及び硫黄原子のみを含む 5 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

513/04　311　・・・・窒素原子のみを含む複素環との縮合系

513/04　321　・・・・・窒素原子のみを含む 5 員環

513/04　325　・・・・・・窒素原子 1 個または 2 個を含む 5 員環

513/04　331　・・・・・・・イミダゾ [2,1 － b] チアゾール

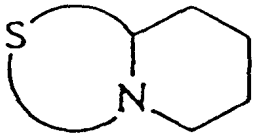


513/04　338　・・・・・・・炭素環と縮合したイミダゾ [2,1 － b] チアゾール

513/04　341　・・・・・窒素原子のみを含む 6 員環

513/04　343　・・・・・・窒素原子 1 個を含む 6 員環

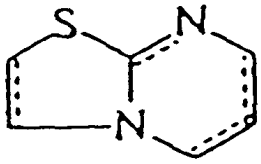
513/04　345　・・・・・・・窒素原子が 2 つの環に含まれるもの



513/04　347　・・・・・・・共通の炭素環を介して縮合したもの

513/04　351　・・・・・・窒素原子 2 個を含む 6 員環

513/04　355　・・・・・・・炭素環と縮合していないチアゾロ [3,2 － a] ピリミジン



513/04　361　・・・・・窒素原子のみを含む 7 員環以上の環

513/04　371　・・・窒素及び硫黄原子のみをもつ 6 員の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

513/04　373　・・・・窒素原子のみをもつ複素環との縮合系

513/04　375　・・・・・窒素原子のみの 5 員環

513/04　381　・・・・・窒素原子のみの 6 員環

513/04　383　・・・・・・窒素原子 1 個の 6 員環

513/04　391　・・・窒素及び硫黄原子のみをもつ 7 員以上の複素環を少なくとも 1 個含有するもの

513/06　・・ペリ―縮合系 [2]

513/08　・・架橋系 [2]

513/10　・・スピロ―縮合系 [2]

513/12　・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]

513/14　・・オルソ―縮合系 [2]

513/16　・・ペリ―縮合系 [2]

513/18　・・架橋系 [2]

513/20　・・スピロ―縮合系 [2]

513/22　・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]

515/00　**縮合系中に異項原子として窒素 , 酸素および硫黄原子のみをもつ少なくても 1 個の複素環を含有する複素環式化合物で** ,C07D463/00,C07D477/00, **または** C07D499/00-C07D507/00 **のグループに分類されないもの** [2]

515/02　・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]

515/04　・・オルソ―縮合系 [2]

515/06　・・ペリ―縮合系 [2]

515/08 ・・架橋系 [2]
515/10 ・・スピロ―縮合系 [2]
515/12 ・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]
515/14 ・・オルソ―縮合系 [2]
515/16 ・・ペリ―縮合系 [2]
515/18 ・・架橋系 [2]
515/20 ・・スピロ―縮合系 [2]
515/22 ・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]

517/00 **縮合系中に異項原子としてセレン , テルルまたはハロゲン原子をもつ少なくても 1 個の複素環を含有する複素環式化合物** [2]
517/02 ・縮合系が 2 個の複素環を含有するもの [2]
517/04 ・・オルソ―縮合系 [2]
517/06 ・・ペリ―縮合系 [2]
517/08 ・・架橋系 [2]
517/10 ・・スピロ―縮合系 [2]
517/12 ・縮合系が 3 個の複素環を含有するもの [2]
517/14 ・・オルソ―縮合系 [2]
517/16 ・・ペリ―縮合系 [2]
517/18 ・・架橋系 [2]
517/20 ・・スピロ―縮合系 [2]
517/22 ・縮合系が 4 個以上の複素環を含有するもの [2]

519/00 **相互に , または共有している炭素環系を介して縮合した 2 個以上の関連する複素環からなる 2 個以上の系を含有し** ,C07D453/00-C07D455/00 **に属さない複素環式化合物** [2]
519/00 301 ・異項原子として窒素のみを含む縮合複素環系を含むもの
519/00 311 ・・異項原子として窒素のみを含む縮合複素環系のみを含むもの
519/02 ・環状ペプチド型の麦角アルカロイド [2]
519/04 ・二量体インドールアルカロイド , 例 . ビンカロイコブラスチン
519/06 ・すくなくとも 1 個の縮合ベータラクタム環系を含有するもので , グループ C07D463/00,477/00,499/00-507/00 に分類されるもの , 例 .1 個のペネムまたはセファム系 [6]
519/06 361 ・・ペニシラン環を含むもの
519/06 365 ・・・もう一つのβ―ラクタム環を含む縮合複素環系（セファロスポラン系を除く）を含むもの
519/06 371 ・・セファロスポラン環を含むもの
519/06 381 ・・・セファロスポラン環の 3 位に結合した縮合複素環系を有するもの
519/06 385 ・・・・― CH_2 ― S ―基を介して結合したもの
519/06 388 ・・・もう一つのβ―ラクタム環を含む縮合複素環系を有するもの

521/00 **不特定の複素環を含有する複素環式化合物** [2]
このサブクラスは特定されない化学構造の複素環式化合物のみに用いる。すなわち、グループ 201/00-519/00 のいずれにも属さない複素環式化合物に適用する。